

# 令和4年度 災害等対応マニュアル

1	学校防災体制の整備	1
2	地震対応マニュアル	3
	（1）状況別の地震対応マニュアル	3
	① 教職員及び児童生徒の在校時	3
	② 学校外活動中	5
	③ 登下校時	6
	④ 教職員在校時外	7
3	風水害対応の留意点	8
4	弾道ミサイル発射・落下時の対応マニュアル	9
	（1）児童・生徒在校時	9
	（2）登校前，児童生徒が在宅時および登下校中	11
5	原子力災害対応マニュアル	13
	（1）原子力災害について	13
	（2）学校での対応について	13
6	資料（非常時の対応・組織・配備）	15
	（1）登下校における非常時の対応	15
	（2）非常時における在校時下校体制	16
	（3）緊急連絡用（引き渡し）カード	17
	（4）災害対策本部の組織	18
	（5）教職員の非常配備	19
	（6）情報連絡体制	22
	（7）教育委員会（学校・事務局）防災対応フロー	24
	（8）非常配備時の学校被害状況報告 FAX 送信票 様式	25
	（9）防災用 IP 無線から教育指導課への連絡方法	26
7	避難所開設・運営の支援マニュアル	27
	（1）目的	27
	（2）日常における指定避難所に必要な事項の確認	27
	（3）指定避難所開設・運営の協力・支援	35
	（4）授業再開に向けた対応マニュアル	38
8	その他	39
	（1）避難訓練計画（地震，土砂災害等）について	39
	（2）土砂災害に関する避難確保計画	
	（3）資料 1～4	

# 1 学校防災体制の整備

日常の安全教育及び安全管理を推進し、また、災害等が発生した場合においても速やかに児童生徒等の安全確保を図るため、次の事項について定めておくものとする。

学校防災委員会の設置

○学校の防災体制全体の統括

委員長 — 副委員長  
〔校長〕 — 〔教頭〕

学校防災委員会

教頭  
教務主任  
防災主任  
安全主任  
事務職員

防災管理

マニュアル作成  
施設・設備の点検・整備  
避難方法  
組織の整備  
防災教育

防災教育

研修

組織活動

## 防災管理

マニュアル作成

災害対応マニュアル

教務主任  
防災主任

避難所開設・運営の  
支援マニュアル

教頭

授業再開に向けた  
対応マニュアル

教頭  
教務主任

○状況別の具体的対応策

○児童生徒の安否確認

○非常時下校体制の整備と周知  
(学校待機・引渡し・集団下校等)

○関係機関への連絡体制の整備

など

○学校としての支援体制

○PTAや地域関係団体との連携

○児童生徒の状況把握

○校舎など施設・設備の復旧

○市教委との連絡・協議・調整

○登校日の設定など学校再開までの日程調整

など

施設設備の点検・整備

学校施設の安全点検・整備

安全主任  
事務職員  
技師

○石油倉庫や薬品保管庫等の危険物保管所はじめ校内及び校地内の施設・設備全般についての点検  
(定期・臨時・日常の点検)

\* 消防法第8条第1項及び同法施行令第3条の2第2項に基づく点検

\* 学校保健安全法施行規則第28条・29条に基づく点検・整備

\* 学校建築物等保全点検(6月, 12月)にて非構造部材についても点検

防災上必要な用品等の点検・整備

教頭  
防災主任

- 保管場所の把握
- 災害用資機材等の保管状況の確認
- 重要書類等の適切な保管  
校長印, 学校沿革史, 卒業証書台帳, 指導要録, 人事関係書類など

避難方法

複数の避難場所・避難経路の設定及び確認

防災主任  
安全主任

- 災害状況別（在校時, 登下校時等）に具体的な避難方法及び第一次避難場所, 第二次避難場所や複数の避難経路を設定し, 状況について確認
- 児童生徒, 保護者, 教職員の共通認識

組織の整備

学校災害対策本部

教職員の非常配備計画

情報・連絡体制の整備

教頭

- 災害情報の収集方法
- 学校内における情報の管理・連絡体制の整備
- 災害時に連絡すべき機関のリストアップなど, 情報連絡体制の整備
- 電話等の通信手段が断たれたときの児童生徒・保護者への連絡の方法
- 児童生徒の安否確認の方法

## 防災教育

防災教育

防災教育の推進

防災主任

研修の実施

防災主任  
研究主任

※杜の都の学校教育（「仙台版防災教育」参照）

- 「仙台市版防災教育実践ガイド」等を活用した災害安全に関する校内研修の実施
- 災害等対応マニュアルの読み合わせ
- 地域防災訓練や防災に関する研修会への参加
- 「心のケア」に関する研修

## 組織活動

組織活動

家庭・PTA・地域との連携

教頭  
防災主任  
安全主任

- 各種の機会を通じて, 避難所開設・支援や学校防災計画の内容や災害発生時の児童生徒の安全確保, 学校の対応などの周知
- PTAと災害時の協力体制, 緊急連絡方法等の協議
- 近隣校, 地域団体との連携
- 地域の防災訓練や避難所開設訓練への協力
- 非常時下校体制や登下校時における非常時対応について, 保護者に周知
- 学区内の協同点検（公園, 遊具, ブロック塀等）

# 2 地震対応マニュアル

## (1) 状況別の地震対応マニュアル

### ① 教職員及び児童生徒の在校時

#### 地震発生

基本的対応

安全確保

- 的確な安全確保を指示する。(頭部を保護し、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で身を寄せるなど)
- 特に特別支援学級や配慮を要する児童生徒等の安全確保には教職員が連携して当たる。
- 火災など二次災害の防止に努める。
- 負傷者の有無の確認を行い、手当の必要な場合は応急手当を行う。

避難指示

- 避難経路の安全確認を行う。
- 全校に避難指示を行う。停電時はメガホン等で行う。
- 一次避難場所は原則として校庭だが、液状化や流動化による地割れ等が生じている場合や暴風雨の場合、火災など二次災害で校舎等が使用できない場合には、より安全な避難場所に誘導する。(安全確認を行ったうえで使用可能であれば体育館等)

避難誘導

- 的確な行動を指示する。(頭部の保護、押さない、走らない、しゃべらないなど)
- 配慮が必要な児童生徒等や負傷者等を介助して避難する。
- 児童生徒名簿を携帯する。

情報収集

- 人員の確認を行う。
- 負傷者の確認と応急手当を行う。
- 児童生徒等の不安を軽減し安全確保に当たる。
- ラジオ、テレビ、インターネット等から最新の情報収集を行うとともに二次避難の必要の有無を判断する。

災害対策本部設置

- 学校災害対策本部(P18)を設置し、以下の対応を行う。
  - ◇市内いずれかの地域で震度5強以上のときは、非常時下校体制とする。
    - ・事前の申し合わせに従い、学校待機・引渡し・集団下校のいずれかとする。
  - ◇児童生徒・教職員や施設・設備等の被害状況を確認し、C4th(使用できない場合は所定のFAX送信票:P25)で教育指導課宛に報告する。停電等でFAX送信ができない場合は防災用IP無線を利用して報告する。(P26)必要に応じて支援要請を行う。
  - ◇状況に応じて、通学路等の被害状況を把握する。
  - ◇引き続き災害情報の収集に努める。
  - ◇災害の状況、今後の対応等について保護者に知らせる。
    - ・電話、一斉メール配信、学校ホームページ等で連絡する。
    - ・通信が途絶された場合は、あらかじめ決めておいた方法で連絡する。
  - ◇欠席児童生徒等の安否を確認する。
  - ◇避難所が開設される場合には、避難所開設・運営の支援マニュアルに基づく活動を行う。(P27)

被災状況別の対応

ア 授業中（基本的な安全確保の形態）

- ・ 教職員は、児童生徒への確かな安全確保を指示する。  
（頭部を保護し、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に身を寄せる）
- ・ 火気使用中であれば消火する。（させる。）
- ・ 避難経路の確認、避難の指示は職員室で待機中の教職員が行う。
- ・ 揺れが収まったら、教職員の指示に従い、より安全な避難場所に避難させる。
- ・ 児童生徒等の人員等状況確認や周囲の安全を確認する。
- ・ 余震や二次災害に備え、児童生徒等を落ち着かせる。
- ・ 負傷者の応急手当をする。

場 所	教 職 員 の 対 応（児童生徒への指示）
普通教室	・ 机の下にもぐらせ、机の脚を両手でしっかり持つように指示する。
特別教室	・ 実験・実習中であれば、危険回避の指示をする。 ・ 火気使用中であれば消火の指示をする。
体育館	・ 物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない中央等に集合させ、体を低くするように指示をする。（建物の構造や体育用具の位置によっては、柱や壁に身を寄せる方が良い場合もある。落下物に注意する。）
校庭	・ 建物から離れ、校庭の中央に集合させ、体を低くするよう指示をする。
プール	・ すみやかにプールの縁に移動させ、縁をつかむよう指示をする。 ・ 揺れが収まれば、すばやくプールから出るように指示をする。 ・ 避難準備（サンダル・靴を履き、衣服やバスタオルで身を守る）をする。

イ 教員と児童生徒等が離れている場合（始業前、休み時間、放課後等）

場 所	児童生徒等の行動	教職員の対応
階段、廊下、トイレ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 揺れている間は、頭部を保護し、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所を見つけ、身を寄せて待機する。</li> <li>・ 落下物や倒壊物に気を付ける。</li> <li>・ 揺れが収まったら、教職員の指示に従い、より安全な避難場所に避難する。</li> <li>・ 周囲の安全を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校指示（揺れが収まるまで、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所を見つけて身を寄せるように）をする。</li> <li>・ 教職員は分散して児童生徒等の安全確保、指示誘導をする。</li> </ul>
校庭、中庭、学習園等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物、ブロック塀、窓ガラス等の近くから離れる。</li> <li>・ 揺れが収まるまで、頭部を保護し広い場所の中央で待機する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校舎外にいる児童生徒等の人員確認、負傷者がいれば応急手当をする。</li> </ul>

## ② 学校外活動中

### (1) 現地で地震が発生した場合

#### 事前の計画

- 学校外活動を行う際の事前確認を以下の点に留意して行う。
  - ・見学施設、宿泊施設等の施設管理者との打ち合わせにより、災害時の対応について確認する。(避難経路、避難場所等)
  - ・現地の救急医療機関、避難場所、公的機関(市役所・町村役場、教育委員会、病院等)の住所、電話番号等を把握する。
- 事前指導を以下の点に留意して行う。
  - ・緊急時の避難方法・場所、連絡方法を確認する。
  - ・グループ行動中の緊急時の対応方法を決めておく。

## 地震発生

#### 安全確保

- 的確な避難行動を指示する。
  - ・物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に避難させる。
  - ・ビル街では落下物やガラス等の飛散から身を守らせる。
  - ・電車、バス等に乗車中は、係員の指示により行動させる。
  - ・山間部で活動しているときには、崩壊が起きそうな崖、落石が起こりそうな場所から素早く離れさせる。
  - ・児童生徒等の不安軽減を図る。

#### 近くの避難場所へ避難

- 避難場所、救護施設がない場合、地元の人や機関等から情報を入手し、的確に対応する。(安全な場所への速やかに避難させる。)
- 海岸近くで活動しているときは、高台やビルの屋上等に避難させる。特に、強い揺れや長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は津波注意報などの発表を待たずにすばやく避難させる。
- 施設管理者等の指示により行動させる。

#### 安否確認

- 人員を確認する。グループ行動中であれば、あらかじめ決めておいた連絡方法で安否確認を行う。
- 通信が途絶された場合は、あらかじめ決めておいた避難場所等を巡回確認する。

#### 事後の対応措置

- 学校へ状況の報告を行う。
- 学校から教育指導課へ報告する。
- 学校から保護者へ連絡する。
- 必要な場合は、現地公的機関へ救援を要請する。

### (2) 修学旅行中などに仙台で地震が発生した場合

## 地震発生

#### 事後の対応措置

- 地震の規模、被害状況等の情報を収集する。
- 現地公的機関や関係機関(旅行業者等)と対応を協議する。
- 可能な方法で学校へ連絡し、現地の状況の報告をもとに学校の状況等を確認する。
- 児童生徒の不安軽減を図る。(状況説明、今後の対応等)
- 学校から旅行の予定変更等について教育指導課へ連絡する。
- 学校から保護者へあらかじめ決めておいた方法で連絡する。

③ 登下校時

◇ 状況に応じた対応（児童生徒等の安全確保のための学校・保護者・地域との連携）ができるように事前の共通理解を図る。

児童生徒等の行動

地震発生

教職員の対応

安全確保

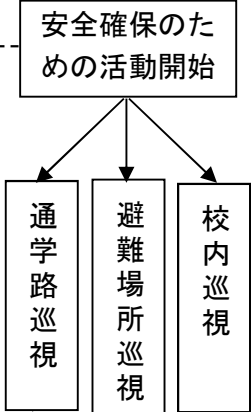
安全確保

※登校前在宅時，又は登下校中の地震発生に備え，校内の対応体制を構築する。  
 ※学校の対応については，事前にPTA役員会やPTA総会等で説明したり，年度始めに文書で対応と協力について周知したりするなど，理解と協力を得る。児童生徒自らの対応については，家庭内で事前に避難方法を話し合い，学校と家庭が児童生徒の避難方法に関する情報を共有する。また，家庭と情報を共有する際は，家庭の事情等に配慮する。  
 ※近隣の小中学校と情報を共有するなど，あらかじめ非常時の対応について打合せを行うとともに，地域と情報を共有する。

- 頭部を保護し，物が落ちてこない，倒れてこない，移動してこない場所に身を寄せる。
- 車道に出ない。
- 通学路が山間部にある場合には，崖崩れ・落石の危険を回避するために，崖から素早く離れる。

- 揺れが収まったら，状況に応じて公園・学校等，より安全な避難場所，あるいは自宅に避難する。
- 家族が家にいないときには，家に帰らない。近くの避難所か学校へ行く。

- 校内にいる児童生徒等の有無と安全確保する。
- 通学路上，避難場所の児童生徒等の安否確認をする。（緊急連絡用カードの持参）
- 保護者，地域と連携し，児童生徒等の安否確認をする。



児童生徒等の保護

- 安否確認できない児童生徒については，電話や家庭訪問等で確認する。

避難後の対応決定

- 教職員在校時（P3）に準ずる。

- 安否確認に当たっては単独行動を避け，二次被害防止に努める。

児童生徒の保護・安否確認

災害対策本部設置

④ 教職員在校時外

地震発生

教職員の参集

- 教職員の非常配備体制と緊急連絡網を事前に整備しておく。
- 該当教職員は非常配備計画に則り参集する。(P19)

<p><b>【警戒配備】</b></p> <p>・校長もしくは教頭、警戒 配備要員 (P19-20 に準じる)</p>	<p>・宮城県に津波注意報が発表されたときも、<b>本校は参集しない。</b></p>
<p><b>【非常1号配備】</b></p> <p>・校長もしくは教頭、非常 配備要員 (P19-20 に準じる)</p>	<p>●市内で震度5弱の地震が発生したとき。</p>
<p><b>【非常2号配備】</b></p> <p>・校長、教頭、非常配備要 員 (P19-20 に準じる)</p>	<p>●市内で震度5強の地震が発生したとき。</p>
<p><b>【非常3号配備】</b></p> <p>・全職員</p>	<p>●市内で震度6弱以上の地震が発生したとき。</p>

- 配備が発令された場合には、該当教職員は家族等の安全を確保した後、自らの安全に留意し、直ちに学校に参集する。

被害状況確認

- ラジオ、テレビ、インターネット等で常に最新の情報収集を行う。
- 施設・設備等の被害状況を確認する。
- 教育指導課に C4th (使用できないときは所定の FAX 送信票 : P25) で報告する。停電等で FAX 送信ができない場合は防災用 IP 無線を利用して報告する。(P26)

本部設置 災害対策

- 児童生徒・教職員や施設・設備等に被害があった場合、及び避難所が開設される場合は、原則として校長室または職員室に学校災害対策本部を設置し、学校としての組織的な災害対応に当たる。(P18)

事後の措置対応

- 電話、一斉メール配信、学校ホームページ等の通信手段により安否確認をする。
- 通信手段が途絶されている場合は、学校と保護者が事前に定めておいた連絡方法(家庭訪問、決められた場所への掲示等)で安否確認を行う。
- 自らの安全確保に十分留意しながら、通学路及び地域の被害状況、危険箇所等を確認する。
- 事後の対応について、電話、一斉メール配信、学校ホームページ等の通信手段により保護者に連絡する。
- 通信手段が途絶されている場合は、学校と保護者が事前に定めておいた連絡方法(決められた場所へ掲示等)で連絡する。

◇ 避難所(校門・体育館等)の鍵について

- ・夜間や休日等の発災に備え、地域住民を選出して校門並びに体育館の鍵の管理を依頼している。
- ・【キーボックスによる管理 (八木山南連合町内会 会長 酒井 正 ) ]

配備解除については、校長用緊急連絡メールシステムで確認する。



# 3

# 風水害対応の留意点

風水害は地震とは異なり気象情報に注意を払うことにより、ある程度事前の対応が可能である。天候の崩れが予想される時は、①気象台のホームページ等から積極的に情報収集を行う、②必要に応じて教育委員会へ確認を行う、③収集した情報を基に校内で話し合いを行う、④近隣学校との協議を行うなどして校内の対応体制（基本的な対応は、地震に準じて行う）を構築する。なお、防災体制及び避難誘導の詳細については、別に定める「土砂災害に関する避難確保計画（8その他）」に基づいて対応する。

## （1）児童生徒の安全確保

＜児童生徒へは授業等で、日常から以下のような災害発生時の対応について指導をする。＞

- ① 急な大雨の際は、すぐに川などの水辺から離れる。地下室や地下街には進入しない。土砂災害警戒情報が発表されたら、本市が発表する避難情報（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保）に注意し、いつでも行動できるよう心構える。危険を感じたら自主的に避難することも重要である。
- ② 雷鳴が聞こえたら、安全な建物の中へ避難する。木や電柱から4m以上離れる。近くに避難する場所がない場合は、姿勢を低くする。
- ③ 竜巻の際は、頑丈な建物に避難する（車庫や物置、プレハブには避難しない）。屋内では、窓、カーテンを閉め、窓から離れる。頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。
- ④ 仙台防災ハザードマップや本市ホームページ「せんだいくらしのマップ」等で、河川氾濫や土砂災害、防災重点ため池の危険のある場所をあらかじめ確認しておき、大雨の際などは、危険な区域外や2階以上の建物やマンションの上層階に直ちに避難する。

＜学校は、災害発生時に以下のような点について配慮する。＞

- ⑤ 校長の判断もしくは教育委員会の指示により、始業時刻や終業時刻の繰り下げや繰り上げを行う。
- ⑥ 校長の判断もしくは教育委員会の指示により、臨時休業にする。
- ⑦ 学校行事を予定している場合は、児童生徒の安全確保を第一に考え、適切に対応する。

## （2）教職員の参集（P19-20に準じる）

<b>【警戒配備】</b> ・校長もしくは教頭及び警戒配備要員（教務主任もしくは防災主任）	・大雨、洪水、暴風、大雪等により、市内に災害が発生し、災害の警戒及び応急対策を組織的に実施する必要があるとき <b>・土砂災害警戒情報が発表されたとき、本校は参集しない。</b> （校舎及び体育館が土砂災害警戒区域内にあるため（P20））
<b>【非常1号配備】</b> ・校長もしくは教頭及び非常配備要員2名（教務主任、防災主任）	・市内に気象特別警報（暴風特別警報、暴風雪特別警報及び大雪特別警報）が発表されたとき → <b>西多賀中学校へ、参集する</b> ・大雨、洪水、暴風、大雪等により、市内に災害が発生し、かつ、拡大するおそれがあるとき → <b>西多賀中学校へ、参集する</b>
<b>【非常2号配備】</b> ・校長、教頭、非常配備要員	・大雨、洪水、暴風、大雪等により、災害が本市の区域に広範囲で発生し、更に拡大するおそれがあるとき → <b>西多賀中学校へ、参集する</b>
<b>【非常3号配備】</b> ・全職員	・市内の全域に大規模な災害が発生したとき、又は全域に拡大することが予想される時 → <b>西多賀中学校へ、参集する</b>

○配備が発令された場合には、該当教職員は家族等の安全を確保した後、自らの安全に留意し、直ちに学校に参集する

## （3）避難所の開設準備

本校については土砂災害警戒区域内に校舎及び体育館があるため、避難所として開設しない。

# 4

## 弾道ミサイル発射・落下時の対応マニュアル

### (1) 児童・生徒在校時

基本的対応

# Jアラート等による緊急情報発表

#### 避難の指示 安全確保

- 速やかな避難行動を指示する。(職員室からの緊急放送・教職員の声掛け)
- 火気使用中であれば消火させる。
- 的確な安全確保を指示する。(校舎等に避難する。窓から離れ、机の下に潜るか、廊下や床に伏せて頭部を守る。安全が確認されるまで校内で待機する。など)
- 特別支援学級等や配慮を要する児童生徒等の安全確保には教職員が連携して当たる。
- 児童生徒名簿を携帯する。

#### 情報収集 安否確認

- 児童生徒等の人員等状況確認や周囲の安全確認を行う。
- 児童生徒等の不安を軽減し安全確保に当たる。
- テレビ、ラジオ、インターネット等から最新の情報収集を行う。

#### 事後対応

- 領土・領海内に落下した場合は、市教委の指示に従い、非常時下校体制とする。
  - ・事前の申し合わせに従い、学校待機・引渡し・集団下校のいずれかとする。
- 事後の対応について保護者に知らせる。
  - ・電話、一斉メール配信、学校ホームページ等で連絡する。
  - ・通信が途絶された場合は、あらかじめ決めておいた方法で連絡する。
- 欠席児童生徒等の安否を確認する。
- 学校へ避難してくる者(市民等)がいる場合には、校内の安全な場所に避難させるなどの保護活動を行う。

状況別の対応

#### ア 児童生徒が校舎内(体育館含む)にいる場合(基本的な安全確保の形態)

場 所	教 職 員 の 対 応 (児童生徒への指示)
普通教室 特別教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓、カーテンを閉めさせる。</li> <li>・机を教室の中央に寄せさせる。</li> <li>・机の下にもぐらせ、近くに頭を保護できる物があればそれを頭に当て、なければ手を当てて後頭部を保護する体勢を取らせる。</li> <li>・膝と肘を床に付けさせる。危険な方向(窓等)に尻を向けさせる。</li> <li>・火気使用中であれば消火する。</li> <li>・実験中であれば、危険回避の指示をする。</li> </ul>
廊下等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の教室または近くの教室等で安全確保するよう指示をする。</li> </ul>

体育館	<p>※ 体育館はコンクリートで覆われた建築物ではない場合も多く、また、窓も多いため、時間を要さないのであれば、校舎に避難させることも十分考えられる。この場合、留意点は「普通教室・特別教室等の対応」に同じ。</p> <p>※ 体育館へ避難させる場合は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の中央に避難させる。</li> <li>・窓や出入り口などからできる限り離れ、できるだけ姿勢を低くさせる。近くに頭を保護できる物があればそれを頭に当て、なければ手を当てて後頭部を保護する体勢を取らせる。</li> <li>・体勢は膝と肘を床に付けさせる。危険な方向（窓等）に尻を向けさせる。</li> </ul>
-----	--

## イ 児童生徒が校舎外にいる場合（始業前、授業中、休み時間、放課後等）

場 所	教 職 員 の 対 応（児童生徒への指示）
校庭、中庭、 学習園等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかな避難行動を指示する。（職員室からの緊急放送・教職員の声掛け）</li> <li>・教職員は分散して児童生徒等の安全確保、指示誘導。担任外の教員を1階に配備する。</li> <li>・多人数で階段を駆け上がることは二次的な危険を伴うので、校舎1階の教室や廊下に避難させる。</li> <li>・窓や出入り口など開口部からできる限り離れ、できるだけ姿勢を低くさせる。近くに保護できる物があればそれを当て、なければ手を当てて後頭部を保護する体勢を取らせる。</li> <li>・安全を確認したら教員の指示で、教室に戻す。</li> </ul>
プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すみやかにプールから出るよう指示する。</li> <li>・校舎に避難させる。（無理な場合は更衣室やトイレへの避難も考えられる）</li> <li>・できるだけ姿勢を低くする。衣服やバスタオル、ビート板等を頭に当て、なければ手を当てて後頭部を保護する体勢を取らせる。</li> <li>・安全を確認したら教員の指示で、教室に戻す。</li> </ul>

## ウ ミサイルが近くに着弾した場合

◇ミサイルが近くに着弾した場合、屋外にいる場合は口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。

屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

◇ テレビやラジオ、インターネット等を通し情報収集に努めるとともに行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

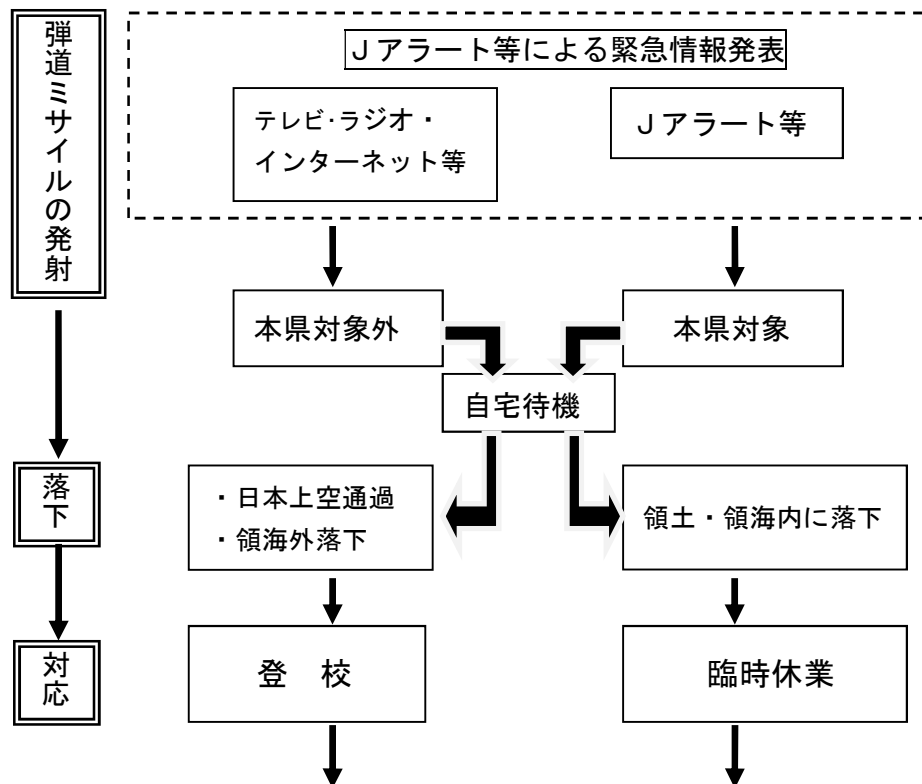
※具体的な避難行動については、「国民保護ポータルサイト」の動画等を参考にする。

URL <http://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/index.html>

## (2) 登校前，児童生徒が在宅時および登下校中

◇ 状況に応じた対応（児童生徒等の安全確保のための学校・保護者・地域との連携）ができるように事前にPTA役員会やPTA総会等で説明し理解と協力を得る。（P6）

### ア 登校前，児童・生徒が在宅時の場合の対応



※この場合，市教委から各学校への連絡は特に行わない。

※「日本上空通過」とは，他に追尾しているミサイルやミサイルから分離した落下物が我が国の領土・領海に落下する可能性がないことが確認された後に発せられる。

※「領海外落下」とは，ミサイル発射情報を発した後，結果的に本邦の領海外に落下した場合を指す。

※発生時刻によっては保護者等へ「通常登校」「始業時刻を遅らせ登校」等の連絡をする。

※「臨時休業解除」の判断については，ミサイルの発射や着弾の時間帯，被害の発生状況，国としての状況等によって市教委が行い，各学校への通知やマスコミへの連絡を行う。

※解除の場合，保護者等へ「通常登校」「始業時刻を遅らせ登校」等の連絡をする。

## イ 児童・生徒が登下校中の場合

- ◇ 登下校中に、緊急情報が発表された場合に備え、校内の対応体制を構築する。
- ◇ 児童生徒には安全確保のための避難行動について指導を行う。
- ◇ 保護者や地域の理解と協力が得られるよう、事前にPTA役員会やPTA総会等で説明し理解と協力を得る。
- ◇ 近隣の小中学校や地域と対応についての情報共有をする。

児童生徒等の行動

教職員の対応

### Jアラート等による緊急情報発表

安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近くにある建物や地下に避難し窓から離れる。</li> <li>○近くに建物がない場合は物陰等に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。</li> <li>○車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車から離れたところに避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内に児童生徒がいる場合、緊急情報を放送し、避難行動を呼び掛ける。</li> <li>○校舎内で避難行動を取らせる。</li> <li>○校内にいる児童生徒等の安全確保。</li> </ul>	安全確保
	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報収集に努める。(公共施設・店・近くの大人など)</li> <li>○得られた情報に従って、行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビやラジオ、インターネット等で最新の情報収集を行う。</li> <li>○行政(市教委)からの指示があればそれに従って、行動する。</li> </ul>
情報収集後の行動		<p>&lt;登校時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校のすぐ近くまで登校している場合は、学校へ避難する。</li> <li>○自宅を出たばかりの場合は、すぐ帰宅する。</li> </ul> <p>&lt;下校時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校のすぐ近くにいる場合は、学校へ避難する。</li> <li>○自宅に近い場合は、すぐ帰宅する。</li> <li>○自宅に誰もいないときには、家に帰らず、学校へ避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路等の児童生徒の安否確認をする。(緊急連絡用カードの持参)。</li> <li>○保護者に、在宅児童生徒の安否確認をする。</li> </ul> <p>○安否確認できない児童生徒については、電話や家庭訪問等で確認する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">児童生徒等の保護</div>		事後の対応措置
<ul style="list-style-type: none"> <li>○領土・領海内に落下した場合は、市教委の指示に従い、臨時休業、非常時下校体制(事前の申し合わせに従い、学校待機・引渡し・集団下校のいずれか)とする。</li> <li>○事後の対応について保護者に知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話、一斉メール配信、学校ホームページ等で連絡する。</li> </ul> </li> </ul>			

## ウ ミサイルが近くに着弾した場合

- ◇ (1) 児童生徒が在校時「ウ」(P10)に準ずる。

# 5

## 原子力災害対応マニュアル

### (1) 原子力災害について

仙台市は、女川原発から30km圏外（原子力災害対策重点区域外）であるが、過去の事故事例から放射性物質を含むプルーム（煙流）が本市に接近する可能性も考えられる。このことから、原子力災害が起きた際の対応について理解しておく必要がある。

#### ○ 市からの発令及び避難行動

原子力災害が発生した場合、仙台市から、屋内退避・一時移転をそれぞれ「準備」⇒「指示」の2段階で発令される。

市からの情報	市民の避難行動
屋内退避の「準備」を発令	できるだけ外出を控える。
屋内退避の「指示」を発令	すみやかに屋内に入り、ドアや窓を閉め、換気扇を止め、ガムテープで窓の内側から目張りするなど、できるだけ外の空気が入らないようにする。
一時移転の「準備」を発令	情報を入手する。物資の準備など移転の準備をする。
一時移転の「指示」を発令	指示に従い1週間程度内に一時移転する。

【仙台防災ハザードマップより】

### (2) 学校での対応について（学校活動中）

#### 原子力災害発生



緊急速報メール等による緊急情報発表  
「屋内退避の準備」発令

#### 避難行動

○教室等なるべく気密性の高い所へ避難誘導を行う。（緊急放送・教職員の声掛け等）

原子力災害は、大地震・大津波等による二次災害で発生する場合も想定されるので、同時に津波や建物の倒壊等も考えられる。校舎への避難の方が危険と判断する場合は、できるだけ安全な施設や場所へ避難することも想定しておく

⇒校舎倒壊等の恐れがない場合は、校舎内に戻す。

⇒校舎倒壊等の恐れがある場合は、できるだけ安全な施設や場所へ避難する。

○特別支援学級や配慮を要する児童生徒等の安全確保には教職員が連携して当たる。

○児童生徒の避難状況及び周囲の安全の確認をする。

○児童生徒の不安軽減に努める。

※ 在宅時および登下校中に災害が発生した場合は、**6**資料(1)等を参考にして指導しておく。

屋内退避の準備

<b>屋内退避の準備</b>	<p><b>保護者への引き渡し・安否確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電話、一斉メール配信、学校ホームページ等で保護者へ引き渡しの連絡をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信が途絶された場合は、あらかじめ決めておいた方法で連絡する。</li> </ul> </li> <li>○帰宅後の対応について保護者に知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅をしたらできるだけ外出を控えること。</li> <li>・屋内退避の解除が出されるまで臨時休業となるので、自宅で屋内退避を続けること。</li> <li>・テレビ、ラジオ、インターネット等から最新の情報収集を行う。</li> </ul> </li> <li>○欠席児童生徒等の安否を確認する。</li> </ul> <p>※児童生徒が在宅及び登下校中の時に災害が発生した場合も、電話等で児童生徒の安否を確認する。</p> <p><b>情報収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビ、ラジオ、インターネット等から最新の情報収集を行う。</li> </ul> <p><b>屋内退避の「指示」への備え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所となる教室等に、ガムテープ等による窓の目張りや換気扇の停止などによる建物の気密性を確保する。</li> </ul>
<b>屋内退避の指示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○屋内退避の「指示」が発令された時点でまだ保護者への引き渡しがされていない児童・生徒がいる場合は、学校等にて屋内退避を実施する。 ⇒臨時休業、屋内退避を継続する。</li> </ul>
<b>屋内退避の解除</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者への引き渡しがされていない児童・生徒がいる場合は、保護者への引き渡しを行う。</li> <li>○「臨時休業の解除」となった場合、保護者等へ「通常登校」や「始業時刻を遅らせ登校」等の連絡をする。</li> </ul> <p>※「臨時休業の解除」の判断については、市との協議の下、市教委が行い、各学校への通知やマスコミへの連絡を行う。</p>

## 6 資料（非常時の対応・組織・配備）

### （１）登下校時における非常時の対応

#### ① 登下校中における非常時の児童生徒自身による避難について

登校前在宅時，又は登下校中に，地震発生に備え，校内の対応体制を構築する。

特に，登下校中における非常時の児童生徒の避難については，児童生徒自身の判断に拠ることとなるため，例えば「学校のすぐ近くまで登校している場合は，学校へ避難する。」「自宅を出たばかりの場合は，すぐ帰宅する。」など，家庭内で事前に避難方法を話し合い，検討しておくことが求められる。このことについて，あらかじめPTA 役員会やPTA 総会等で保護者に依頼するとともに，年度当初に文書を配付して呼び掛け，学校と家庭が児童生徒の避難方法に関する情報を共有しておく。なお，対応について家庭と情報を共有する際は，家庭の事情等に配慮する。

#### <避難方法>

登校時 ・学校のすぐ近くまで登校している場合は，学校へ避難する。  
 ・自宅を出たばかりの場合は，すぐ帰宅する。  
 ・土砂災害警戒エリアを除く地域の避難場所（公園等）へ避難する。

下校時 ・学校のすぐ近くにいる場合は，学校へ避難する。  
 ・自宅に近い場合は，すぐ帰宅する。  
 ・自宅に誰もいないときは，学校や地域の避難所へ避難する。  
 ・土砂災害警戒エリアを除く地域の避難場所（公園等）へ避難する。

#### ② 校内の対応体制を構築する際の留意点

近隣の小中学校は，同一の対応を取ることが望ましい。あらかじめ非常時の対応について，隣接する学校は互いに打合せを行うとともに，非常時も連絡を取り合うようにする。また，対応について地域と情報を共有し，協力を得られるようにする。

##### ア 登校前在宅時の対応

登校前在宅時に地震等の発生や特別警報等の発表があった場合は，校長の判断もしくは教育委員会の指示により対応を決定し，決定した内容を速やかに保護者に連絡する。

- ・校長の判断もしくは教育委員会の指示により，始業時間の繰り下げを行う。
- ・校長の判断もしくは教育委員会の指示により，臨時休業にする。
- ・決定した対応を保護者へ連絡する。（電話，一斉メール配信，学校ホームページ等で）
- ・通学路の安全確認を行う。
- ・児童生徒の安否確認及び安全確保を行う。

##### イ 登校中の対応

- ・登校中の児童生徒の安否確認及び安全確保を行う。

##### ウ 下校中の対応

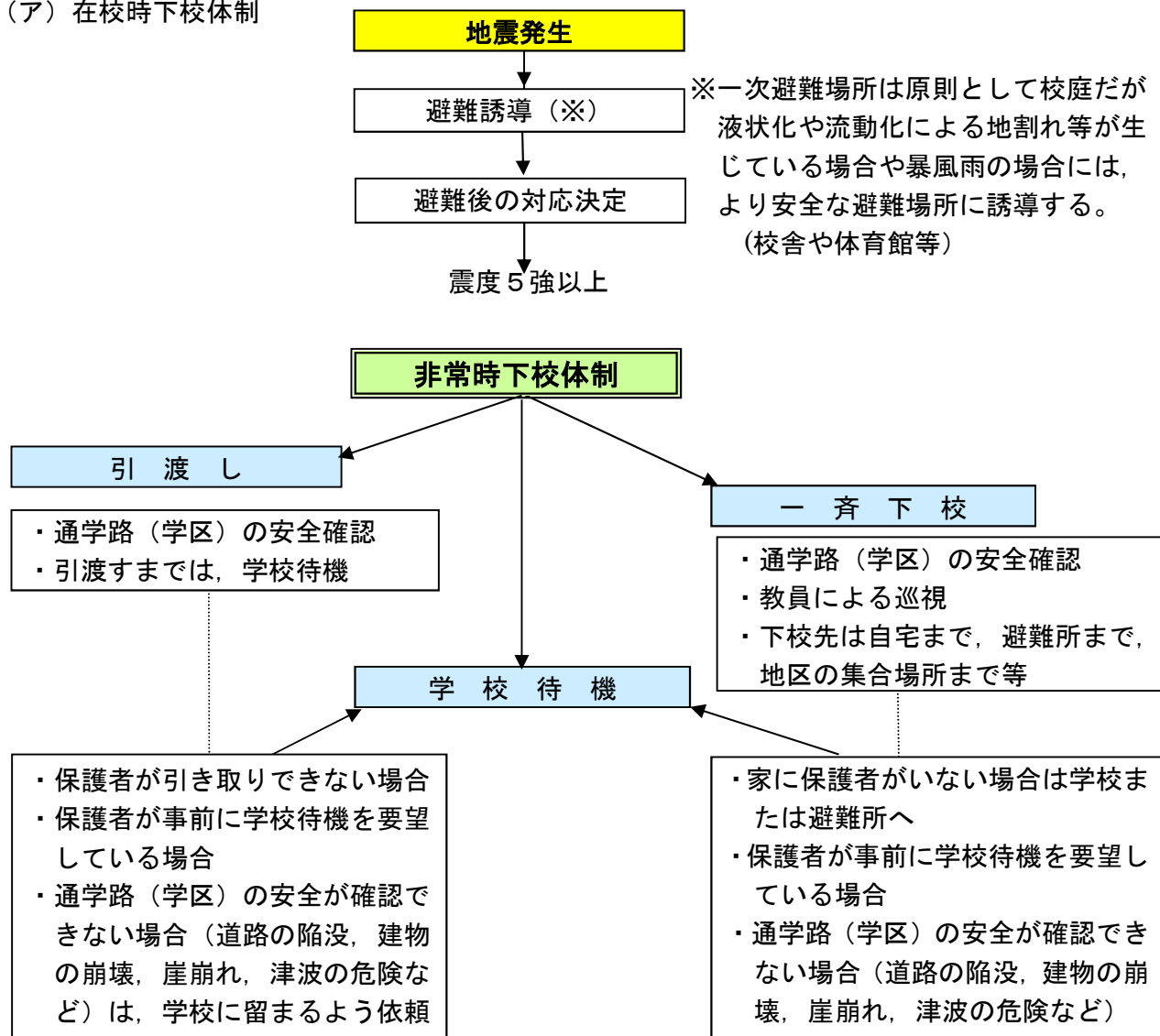
- ・下校中の児童の安否確認及び安全確保を行う。



## (2) 非常時における在校時下校体制

- ・市内いずれかの地域で震度5強以上の地震が観測されたときには、全校で学校待機・引渡し・集団下校など通常とは異なる方法で下校させる。
- ・震度5弱以下の場合には、各学校の計画による。
- ・(可能であれば) 決定した対応を保護者へ連絡する。(電話、一斉メール配信、学校ホームページ等で)

### (ア) 在校時下校体制



### (イ) 事前の保護者との確認

各学校の非常時下校体制について

- ・引渡し方法・場所、集団下校の方法などについて
- ・引渡し、集団下校、学校待機等の保護者の要望
- ・引渡しカードの作成

### (ウ) 家庭内での確認事項

- ・通学経路について(集団下校時の経路)
- ・引渡しの場所
- ・避難所や家族の集合場所
- ・非常時伝言ダイヤル等による連絡方法 など

### (3) 緊急連絡用(引き渡し)カード (A5サイズ)

表面

令和 年 月 日 現在

令和 年 月 日 現在

## 緊急時の児童引き渡しカード

仙台市立八木山南小学校

地区	鉤取 A・B 鉤取 C☆親和会 鉤取 NT 八木山南1 八木山南2・4 八木山南3 八木山南5・6 金剛沢3 紙漕				
学年	組	番号	児童氏名	ふりがな	
			保護者氏名		
住所	仙台市太白区				
	自宅 Tel		携帯 Tel		
在籍兄	年組		年組		
弟姉妹	年組		年組		

裏面

引き取りに来る方  
(登録している人)

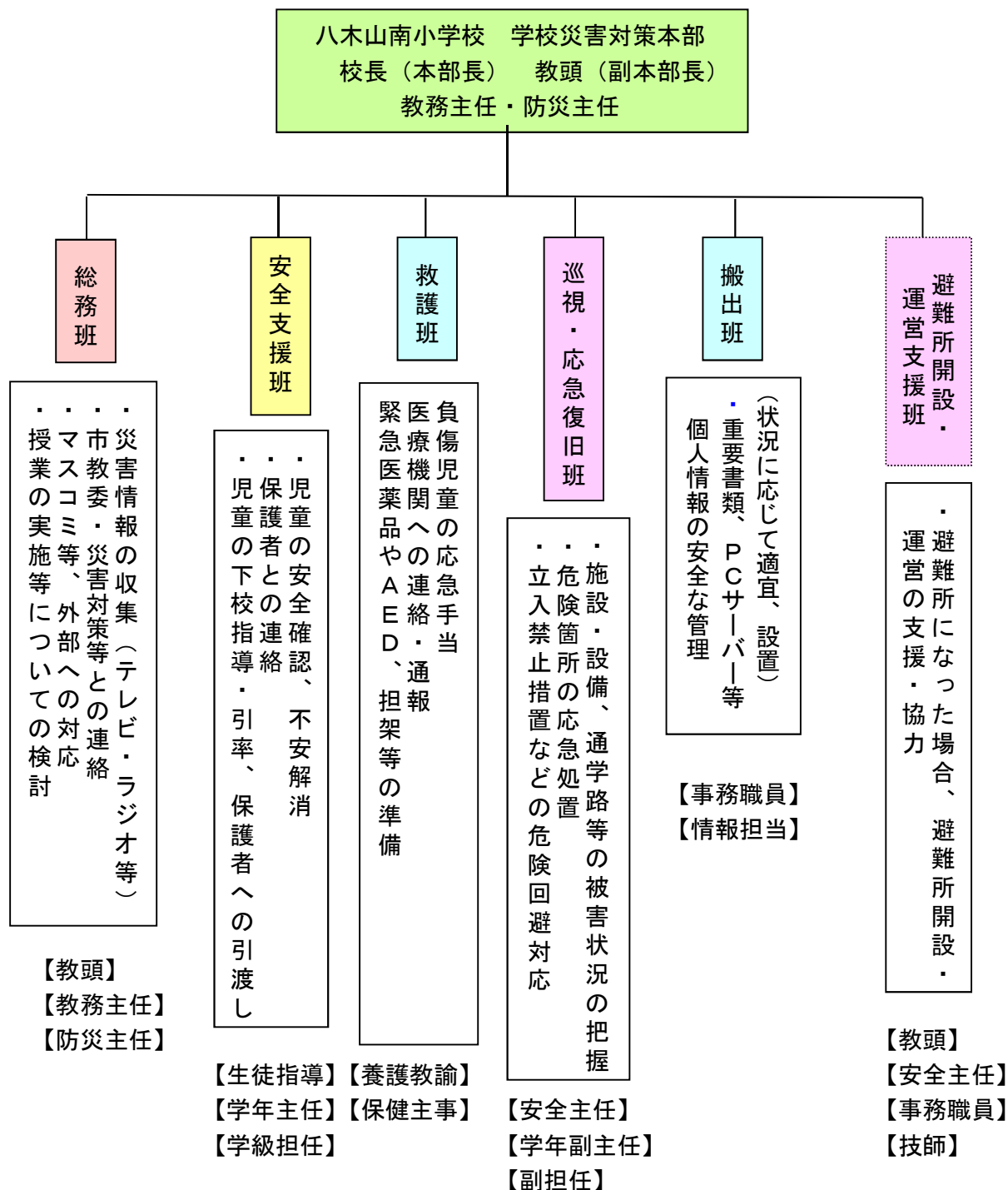
	氏名	児童との関係	連絡先電話	引き渡し月日		
			(携帯、自宅、勤務先等)			
1						
2						
3						
4						
5						

(登録していない人)

氏名	児童との関係	連絡先電話	引き渡し月日		

## (4) 災害対策本部の組織

児童生徒・教職員や施設・設備等に被害があった場合、及び区災害対策本部から避難所開設要請があった場合、原則として校長室または職員室に学校災害対策本部を設置し、学校としての組織的な対応に当たる。



## (5) 教職員の非常配備

令和4年4月8日

# 仙台市立八木山南小学校教職員非常配備計画

※仙台市防災関係規定、「非常配備等に関する要領」より

組織体制	配備の区分及び八木山南小学校配備体制	配備の基準
	情報連絡体制の強化	(1) 市内で震度4の地震が発生したとき (2) 気象注意報、警報が発表され、市内で災害発生のおそれがあるとき (3) その他危機管理監が必要と認めるとき
災害警戒本部体制	<b>警戒配備</b> 【避難所開設準備】 校長もしくは教頭及び 警戒配備要員1名 (教務主任もしくは 防災主任)	(1) 大雨、洪水、暴風、大雪等により、市内に災害が発生し、災害の警戒及び応急対策を組織的に実施する必要があるとき (2) その他危機管理監が必要と認めるとき  ・ 市内に土砂災害警戒情報が発表されたとき、本校は参集しない。 ※発表される範囲が順次拡大する場合が多い。警戒配備を行っていない学校についても気象情報の収集を積極的に行うこと(別表2)参照 <東部・西部の区分資料3参照>
災害対策本部体制	<b>非常1号配備</b> 【災害対応人員参集】 校長もしくは教頭及び 非常配備要員2名 (教務主任、防災主任)	(1) 市内で震度5弱の地震が発生したとき (2) 市内に気象特別警報(大雨、暴風、高潮、波浪、大雪、暴風雪)が発表されたとき(別表2)参照 ※大雨時に初動で避難所を開設しない学校も参集 ※土砂災害警戒区域内にある八木山南小、湯元小、人来田中、八乙女中の教職員はあらかじめ決めている近隣校へ参集 → 本校は、西多賀中に参集する (3) 大雨、洪水、暴風、大雪等により、市内に災害が発生し、かつ、拡大するおそれがあるとき → 大雨の際、本校は、西多賀中に参集する (4) 市内に大規模な火災、爆発その他重大な災害が発生したとき (5) その他市長が必要と認めるとき
	<b>非常2号配備</b> 校長、教頭、非常配備要員【教務主任、防災主任、副教務主任、各学年主任、栄養教諭、事務職員】 (概ね1/3の教職員)	(1) 市内で震度5強の地震が発生したとき (2) 大雨、洪水、暴風、大雪等により、災害が本市の区域に広範囲で発生し、更に拡大するおそれがあるとき → 大雨の際、本校は、西多賀中に参集する (3) その他市長が必要と認めるとき
	<b>非常3号配備</b> 全教職員	(1) 市内で震度6弱以上の地震が発生したとき (2) 市内の全域に大規模な災害が発生したとき又は全域に拡大することが予想されるとき → 大雨の際、本校は、西多賀中に参集する (3) その他市長が必要と認めるとき

※ 該当教職員は家族等の安全を確保し、自らの安全にも留意後、定められた計画に基づき、直ちに学校へ参集する。

- 注) 1 警戒配備、非常配備に管理職以外の教員が従事し、時間外勤務が生じた場合は、勤務の振替により対応すること。(教員以外の事務職員、技師等については、超過勤務手当の対象となる。)
- 2 警戒配備、非常配備に管理職以外の教員が従事した際の特殊勤務手当の支給要件は、勤務時間内・外を問わず、待機等のみでなく実働を伴う業務に従事した場合となる。例えば「災害に伴う施設・設備等の安全点検」「災害からの復旧作業」「避難所開設に伴う避難所業務」などが想定される。なお、避難所業務においては、実際に避難所が開設されたことが要件であるため、開設準備発令の段階では特殊勤務手当の支給対象にはならない。※災害時の手当支給等に関する問合せ先：人事課給与厚生係

3 円滑かつ的確に情報を伝達するために、学校内における連絡体制の構築や、災害時に連絡すべき地域団体や機関のリストアップなど、情報連絡体制の整備を図っておく。

**参考**

【市教委配備】 警戒配備：総務課長・総務係長・教育指導課長・管理係長・生涯学習課長・企画係長 等  
 非常1号配備：教育局職員の概ね1/3の職員  
 非常2号配備：教育局職員の概ね2/3の職員  
 非常3号配備：全職員

(別表1) 津波の場合の参集対象校

配備の区分	配備の基準	参集対象校
警戒配備	津波注意報	宮城野区：岡田小，高砂中 若林区：六郷中，七郷中
非常1号配備	津波警報	宮城野区：岡田小，福室小，中野栄小，鶴巻小，高砂中，中野中 若林区：六郷小，七郷小，沖野小，蒲町小，沖野東小，荒井小，六郷中，七郷中，蒲町中，沖野中 太白区：四郎丸小，袋原小，東四郎丸小，郡山小，袋原中
非常2号配備	大津波警報	宮城野区：福室小，中野栄小，鶴巻小，中野中 若林区：六郷小，七郷小，沖野小，蒲町小，沖野東小，荒井小，六郷中，七郷中，蒲町中，沖野中 太白区：四郎丸小，袋原小，東四郎丸小，郡山小，袋原中 ※岡田小，高砂中においては，教職員は当該校には参集しないが，あらかじめ決めている近隣校へ参集及び待機し，当該校児童生徒の安否等に係る情報収集等に当たる。なお，近隣校に関する情報（校名，電話番号，連絡可能時間等）については，事前に保護者に周知しておくとともに，施設管理の観点から，安全が確保できる状況になった段階で当該校の校舎等の点検を行うこと。参集要員は対応に必要な人員のみとする。

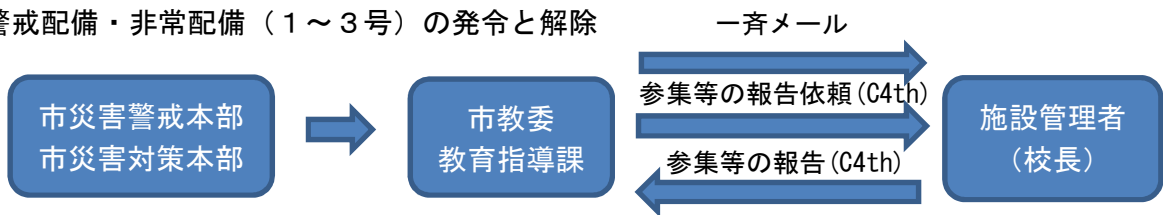
※ 地震と同時にない津波注意報・津波警報・大津波警報(例：チリ地震)の場合も同様である。

(別表2) 台風・大雨等の場合の参集対象校

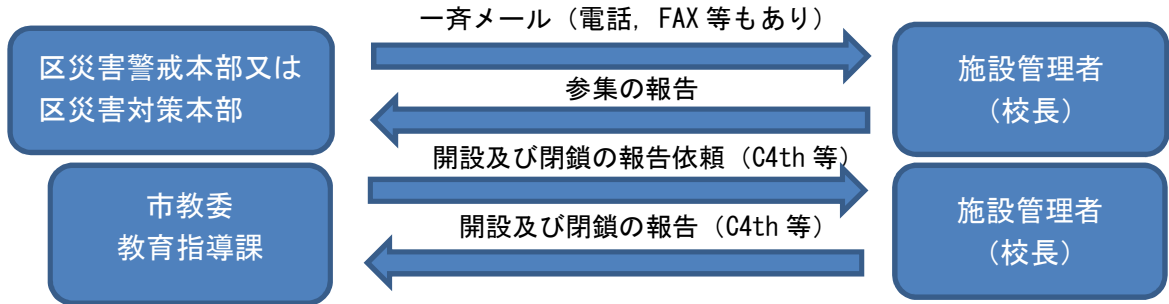
配備の区分	配備の基準	参集対象校
警戒配備	土砂災害警戒情報	仙台市東部に発表：仙台市東部の学校 (資料3参照) 仙台市西部に発表：仙台市西部の学校 (資料3参照) ※折立中は東部，西部どちらにも該当する。 (参集しない学校：下記①②の学校には避難所担当課も参集しない。) ①土砂災害警戒区域内に校舎及び体育館がある学校 ・八木山南小，湯元小，人来田中，八乙女中 ②初動で開設しない避難所となっている学校 (資料2参照)
非常1号配備	気象特別警報	上記①以外の学校 ※上記①の学校においては，教職員は当該校には参集しないが，あらかじめ決めている近隣校へ参集及び待機し，当該校児童生徒の安否等に係る情報収集等に当たる。なお，近隣校に関する情報（校名，電話番号，連絡可能時間等）については，事前に保護者に周知しておくとともに，施設管理の観点から，安全が確保できる状況になった段階で当該校の校舎等の点検を行うこと。参集要員は対応に必要な人員のみとする。

## 非常時の連絡系統

### ○警戒配備・非常配備（１～３号）の発令と解除



### ○避難所の開設（準備）と閉鎖



## 非常配備計画における留意事項

### ※非常配備におけるチェック項目として活用すること

### ○警戒配備・非常配備（１号～３号）の発令と解除について

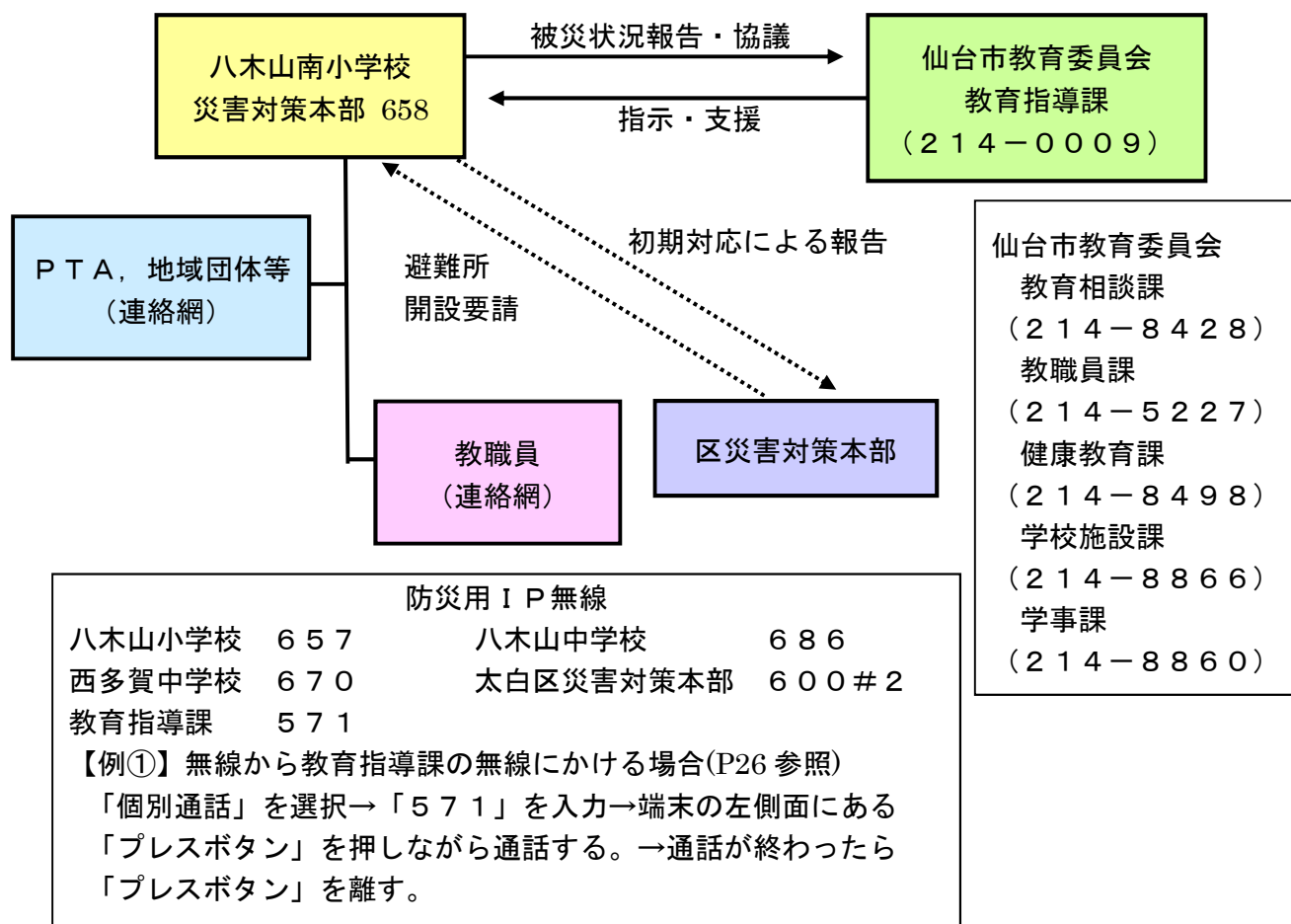
- 警戒配備・非常配備の発令と解除については、教育指導課から校長宛に一斉メールで連絡する。なお、発令時は、原則、自動参集となることから、メールの到着の有無に関わらず、参集する。
- 警戒配備による参集状況等について、教育指導課から C4th で報告依頼があるので、回答する。
- 参集した職員は、学校の被害状況確認、復旧業務、（児童生徒の安否確認）避難所業務に従事するが、その後の勤務（授業）への対応にも配慮し、非常配備要員のほかに、あらかじめ参集者を決め、連続した勤務とならないようにローテーションを組んでおく。
- 参集した職員は、学校の被害状況の確認、復旧業務、（児童生徒の安否確認）避難所業務等に従事するが、避難所閉鎖後に待機程度が想定される場合、校長の判断で非常配備要員を縮小することができる。また、警戒配備・非常配備の解除については、市教委からの指示を受けて行う。なお、前述の場合以外の規模縮小に関しては、市教委と災害警戒本部・災害対策本部との協議の上、行うものとする。

### ○避難所開設（準備）と閉鎖について

- 避難所開設（準備）と閉鎖については、区災害対策（警戒）本部から校長宛に指示がある。
- 避難所開設（準備）がなくても、警戒配備・非常配備が指示されている場合は、学校での待機等の対応が必要である。（市教委の指示がある場合を除く。）
- 避難所開設準備の指示があった場合、校長は参集後、速やかに区災害警戒本部に報告をする。
- 避難所開設及び閉鎖の際、教育指導課から C4th 等で報告依頼があるので、回答する。
- 避難所開設初動時には、様々な諸準備のために相当数の人員が必要となるため、警戒（非常）配備要員のほかに、あらかじめ参集者を決め、連続した勤務とならないようにローテーションを組んでおく。
- 区災害対策本部から避難所の開設要請がない状況下、災害により自主避難者が発生した場合等には、応急的な受け入れを行い、区災害対策本部に連絡する。
- 避難所開設に当たっては、事前に校長が施設の安全確認（避難所等安全確認チェックシート）を行う。異常がある場合、区災害対策本部に連絡する。
- 避難者が全員帰宅後、区災害対策本部からの連絡があるまで避難所を閉鎖しない。
- 上記の場合で待機程度が想定される場合、避難所運営委員会（避難所担当課等）と協議の上、警戒・非常配備要員を縮小することができる。

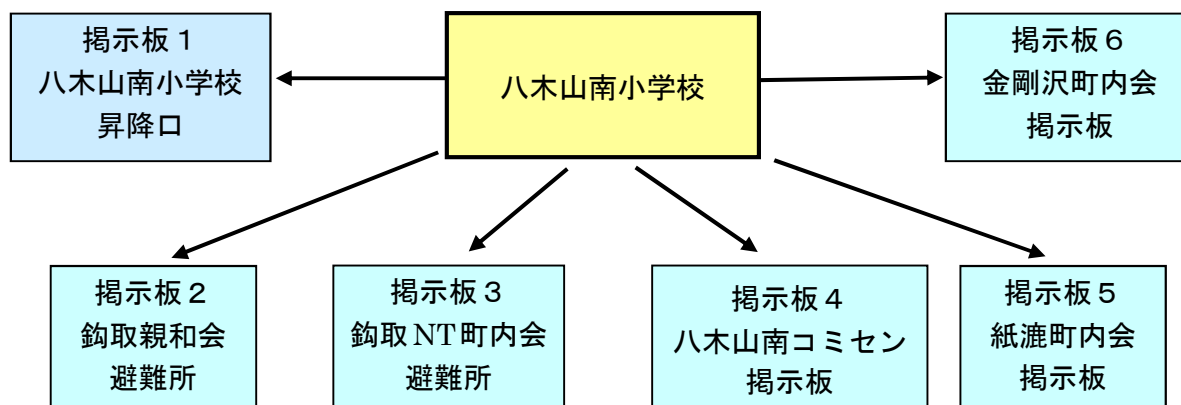
## (6) 情報連絡体制

### ○電話等の通信手段が使えるとき



### ○電話等の通信手段が使えないときの学校から保護者等への連絡方法

掲示場所を事前に定めておき、掲示により連絡事項を保護者へ伝える



※保護者から学校への連絡については、電話等が使えないときは、「直接学校に来る」「知り合いに伝言を頼む」「手紙(メモ)を学校のポストに入れる」等による。

## <学区内および学区周辺の施設>

### ○学校関係

	施設名	住所（電話番号）	備考（IP無線）
学区内	聖ルカ幼稚園	八木山南三丁目3-4 (245-3137)	
	光塩幼稚園	鉤取二丁目2-6 (244-2939)	
	西多賀幼稚園	金剛沢一丁目5-35 (245-5151)	
学区周辺	八木山小学校	八木山本町1-40-1 (229-2107)	657
	八木山中学校	八木山東2-27-1 (229-3144)	686
	西多賀中学校	西多賀3-10-1 (245-5360)	670
	仙台西高校	御堂平5-1 (244-6151)	
	東北工業大学	八木山香澄町35-1 (305-3311)	
	上野山小学校	上野山一丁目20-1 (245-0530)	669
	山田中学校	山田北前町36-1 (244-5028)	661

### ○市民センターやコミュニティセンター等の施設

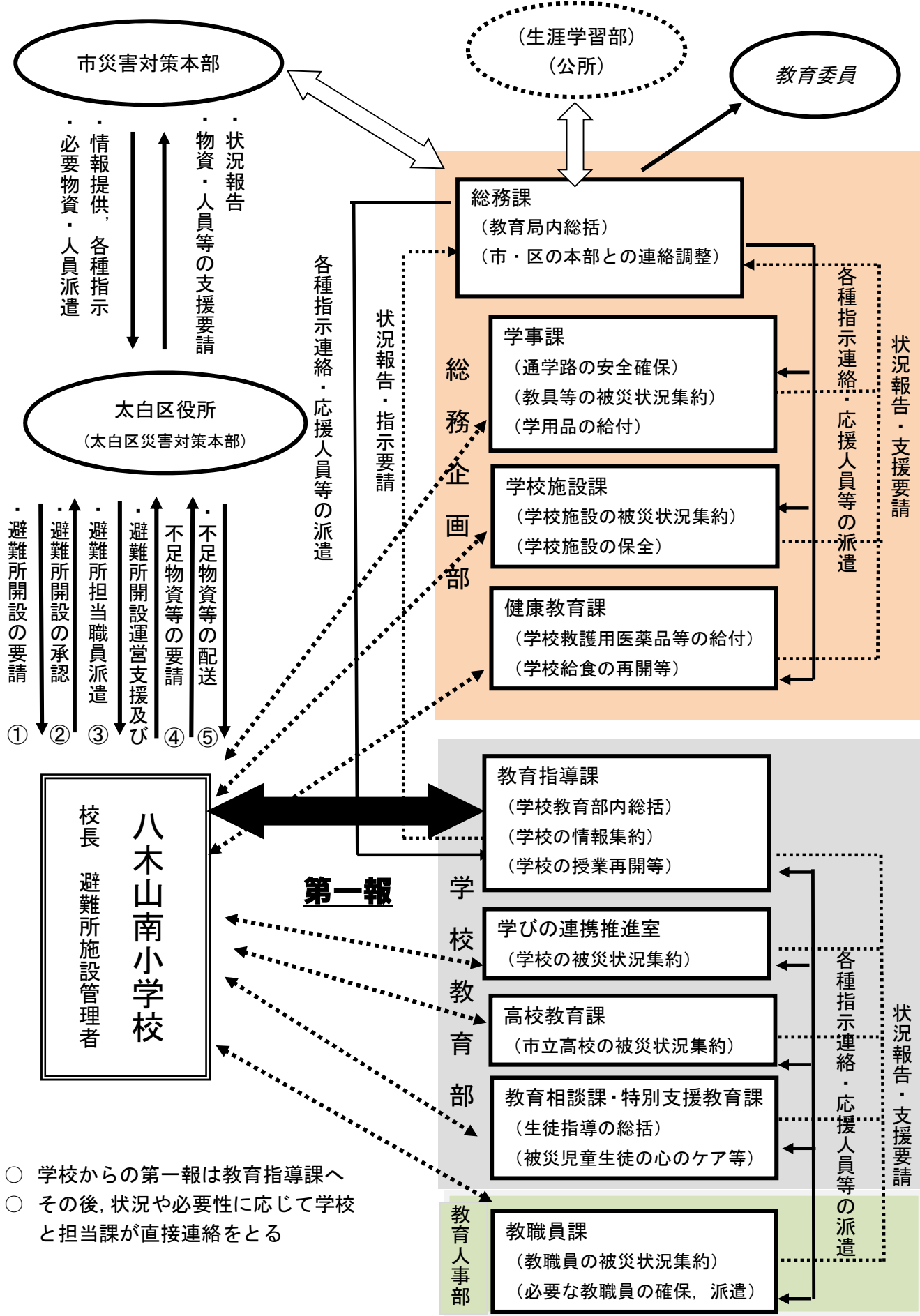
	施設名	住所（電話番号）	備考（IP無線）
学区内	八木山市民センター	八木山本町一丁目43 (228-1190)	868
	八木山南コミュニティセンター	鉤取三丁目13-1 (243-9770)	982
学区周辺	西多賀市民センター	西多賀三丁目6-8 (244-6721)	866
	上野山コミュニティセンター	上野山一丁目21-8 (245-2930)	968

### ○その他の施設

	施設名	住所（電話番号）	備考
学区内	八木山南児童館	鉤取三丁目13-1 (743-0258)	
	萩の郷福寿苑	鉤取御堂平38 (244-0116)	
	老人ホーム翠風苑	八木山本町二丁目42-5 (244-6001)	
	ピーコムライフ八木山	八木山南一丁目11-17 (399-7891)	
学区周辺	エデンの園	八木山南一丁目7-10 (307-3361)	
	八木山児童館	八木山本町一丁目40-1 (229-0833)	
	あった介護西多賀	鉤取二丁目30-30 (343-7734)	



# (7) 教育委員会（学校・事務局）防災対応フロー



- 学校からの第一報は教育指導課へ
- その後、状況や必要性に応じて学校と担当課が直接連絡をとる

(8) 非常配備時の学校被害状況報告 FAX 送信票 様式

FAX送信票

FAX 番号 264-4437

## 被害状況報告

受信者	仙台市教育局 教育指導課長 様
送信日時	月 日 時 分
送信者	学校番号 ( 61 ) 学校名 ( 八木山南小学校 ) 職名 ( ) 氏名 ( )
被害報告	<p>被害状況(どちらかに☑)</p> <p><input type="checkbox"/> 異常なし</p> <p><input type="checkbox"/> 異常あり</p> <p>※異常ありの場合は、確認できる範囲内で簡潔に記入願います。 (例) 窓ガラス破損 3枚</p> <p>その他</p>

## (9) 防災用 I P 無線から教育指導課への連絡方法

### ① 学校の無線から教育委員会の無線へのかけ方

(ア) 端末の画面の下にある「左右の矢印ボタン (◀ ▶)」を押して、「個別通話」を選択する。

(イ) 呼出番号入力

～を押して、相手局の呼出番号(3桁)を入力する。

※呼出し番号：教育指導課1(571)，教育指導課2(572)，教育指導課3(573)，  
教職員課(570)，学校施設課(569)，総務課(568)

(ウ) 端末の左側面にある「プレスボタン」を押しながら通話する。

通話が終わったら「プレスボタン」を離す。

※ 操作方法は、危機管理局より配布されている「仙台市防災用 I P 無線簡易取扱説明書」にも記載されている。

### ② 教育委員会の緊急連絡先の無線番号(抜粋)と報告内容

災害発生時の被害状況等は教育指導課に所定の F A X 送信票(P. 25)で報告することとしているが、停電等で F A X 送信ができない場合は学校の防災用 I P 無線から教育指導課の防災用 I P 無線を利用して報告する。連絡の混雑緩和のため、下記の該当の無線番号に報告する。

(ア) 幼稚園，小学校(学校番号1～63) . . . . . 571

(イ) 小学校(学校番号64～128) . . . . . 572

(ウ) 中学校，高校，特別支援学校，中等教育学校 . . . 573

本校は  
学校番号61

報告内容

学校番号(61)      学校名(八木山南小学校)      報告者職・氏名

被害状況《なし・あり(            )》

※ 被害ありの場合は、児童生徒・教職員、施設設備等の簡潔に報告する。

(参考) 総務課568    学校施設課569    教職員課570

# 7 避難所開設・運営の支援マニュアル

## (1) 目的

「仙台市避難所運営マニュアル」を基本として、各地域・学校では、地域・行政・学校の三者の事前協議により「地域版避難所運営マニュアル（地震編及び大雨編）」を作成することとされている。また、令和2年6月より新型コロナウイルス対策追加事項を当該マニュアルに追加することとされている。

本マニュアルは、避難所開設初期対応並びに運営支援における学校としての体制をあらかじめ定めるものである。

## (2) 日常における指定避難所に必要な事項の確認

### ① 指定避難所の開設種別等

指定避難所は、切迫した災害の危険から逃れるための緊急的な避難施設であるとともに、被災により生活の場を失った住民が一定期間滞在して避難生活をするための施設。仙台市では市立小中高等学校等が指定されている。

主な災害種別の指定避難所開設・非常配備

		地震	津波	大雨(洪水・土砂災害)
学区内における災害のおそれ		(本マニュアルに準ずる)	学区内に津波避難エリアは、ない	・学区内に洪水浸水想定区域がない ・学区内に土砂災害のおそれのある区域がある
指定避難所の開設		開設する	開設しない	開設しない
非常配備	警戒配備	—	—	参集しない。
	非常1号配備	市内で震度5弱の地震が発生したとき、学校に参集	—	西多賀中学校に参集する。
	非常2号配備	市内で震度5強の地震が発生したとき、学校に参集	—	西多賀中学校に参集する。
	非常3号配備	市内で震度6弱以上の地震が発生したとき、学校に参集	—	西多賀中学校に参集する。

非常配備の詳細は教職員非常配備計画を参照 (P19)

② 指定避難所としての開放区域（校舎・校庭等）の利用計画

指定避難所として開放することを要請された場合に備え、あらかじめ校舎等の開放区域を次のとおり定める。

指定避難所における学校施設の利用計画

No.	利用目的	利用予定場所
1	避難場所	体育館（必要に応じて教室等）（注）
2	障害者等避難場所	1 F はぐくみ教室 1
3	妊婦・乳幼児の避難場所（授乳室設置が望ましい）	1 F わかくさ 1（授乳室：教育相談室）
4	管理運営所（連絡所）	体育館
5	応急救護所	保健室
6	インフルエンザ・ノロウイルス等感染者避難場所（2箇所以上が望ましい）	2 F 1-1, 1-2
7	情報機器（TV等）設置場所	体育館
8	情報掲示場所	玄関，体育館入口
9	ゴミ集積場所	体育館北側
10	仮設トイレ設置場所	体育館北側駐車場
11	障害者・介護者用トイレ	1 F 障害者用トイレ
12	救援物資集積場所	備蓄倉庫，体育館ステージ
13	救援物資配布場所	体育館
14	臨時遺体安置所	プール更衣室
15	仮設電話設置場所	体育館
16	風呂	校庭南西側
17	更衣室	体育館控室（男）（女）
18	洗濯場	プール内
19	物干し場（男女別が望ましい）	プール内（女） 1 F わかくさ 2（男）
20	ペット置き場	体育館西側
21	介護室	1 F わかくさ 2
22	喫煙場所	校地内には設置しない
23	相談室	1 F はぐくみ 2
24	調理室	1 F 図工室， 4 F 家庭科室
25	給水場	体育館前水道， 1 F 図工室
26	緊急車両用駐車場	体育館東側

（注） 体育館内の空間配置については、あらかじめ地域団体等と協議しておくこと。

※ 妊婦・乳幼児の避難場所と感染者避難場所を離すなどの配慮をしておくこと。

※ 新型コロナウイルス対策追加事項を踏まえて計画すること。

特に、濃厚接触者や体調不良者を受け入れるためのそれぞれの専用スペースの設置について、避難所担当課や地域団体と事前に協議しておく。

No.	利用目的	利用予定場所
1	濃厚接触者避難場所	3 F 2-1（仮）
2	体調不良者避難場所	3 F 2-2（仮）

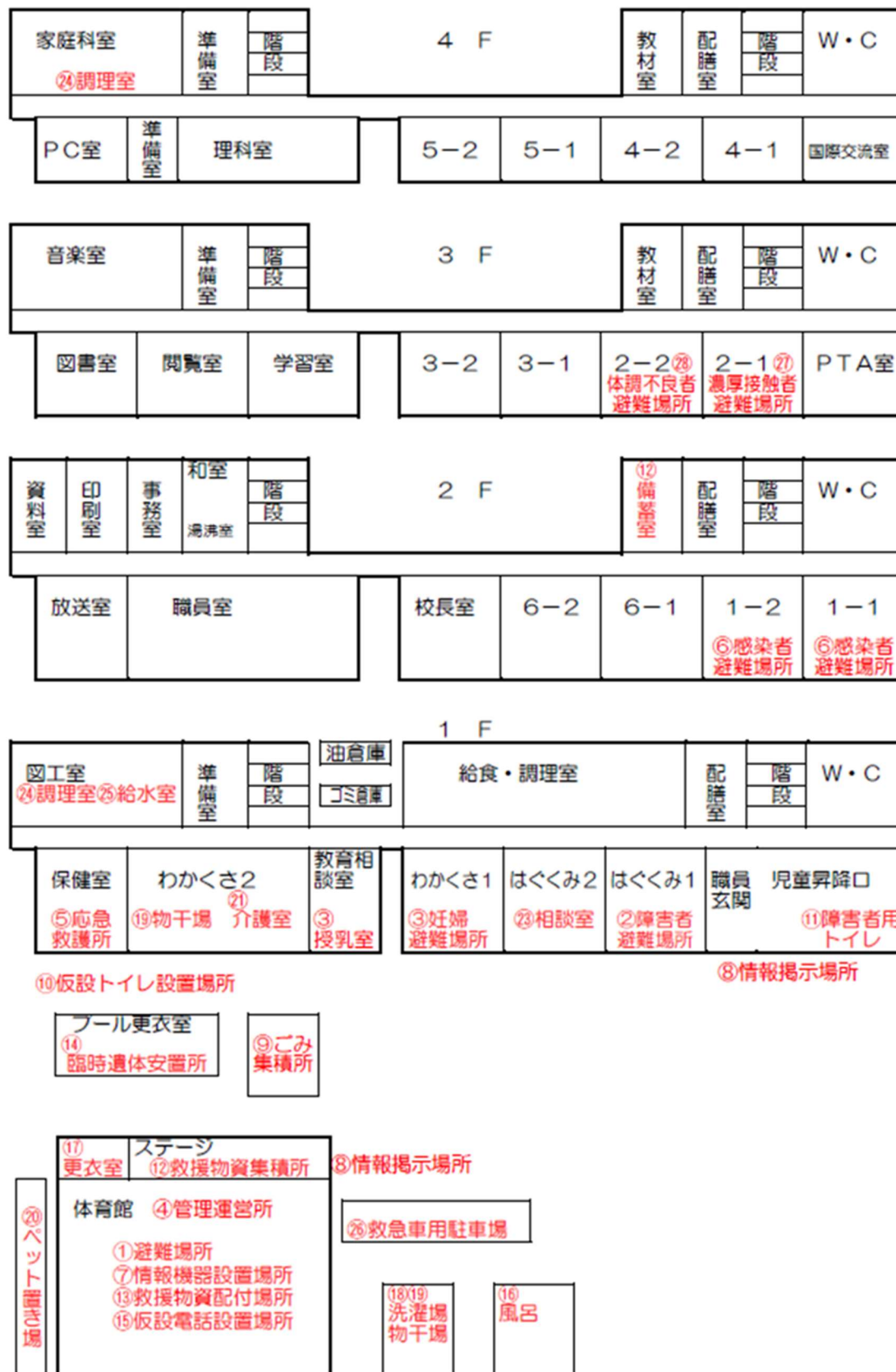
③ 利用配置図【※各校で利用配置図を作成し、添付すること。】

※新型コロナウイルス対策のため、濃厚接触者避難場所、体調不良者避難場所を設置すること

令和4年度

### 校舎利用配置図

仙台市立八木山南小学校



④ 校門・体育館・校舎等の鍵の保管

夜間や休日の発災において、緊急に体育館を開放する必要がある場合の対応として、学校の鍵の保管に関し、次のとおりとする。

No.	保管者 氏名	住所・電話番号	鍵の種類
1	校長 吉田正太郎	名取市	体育館 校舎
2	教頭 鈴木 努	宮城野区	体育館 校舎
3	教務主任 吉澤 保	太白区	体育館 校舎
4	地区住民代表 酒井 正	太白区八木山南	体育館

⑤ 市役所・区役所指定動員の確認

夜間や休日などに、市内で震度6弱以上の地震が発生したとき又は土砂災害警戒情報が発表されたときは、避難所開設の支援を行う目的で学校の近くに住む市役所・区役所の職員が動員される。

指定動員 氏名	連絡先 電話
杉村 遼	太白区保健福祉センター 保護第一課

⑥ 指定避難所担当課の確認

市が避難情報（高齢者等避難，避難指示等）を発令した場合などに、あらかじめ決められた指定避難所担当課職員が各学校に派遣される。

指定避難所担当課連絡先	北部発達相談支援センター 電話 022(375)0110 防災用IP無線 なし
-------------	---

⑦ 指定避難所の開設・対応に係る区役所担当部署の確認

仙台市地域防災計画により、学校に対し指定避難所としての開設要請を行い、また開設後の対応を行うのは太白区災害対策本部となる。

また、実際の避難所管理業務を行うのは、区役所保健福祉センターとなる。

指定避難所管理連絡先	太白区役所保健福祉センター 管理課総務係 電話022(247)1111 内線(704-6711) 防災用IP無線 620#1
------------	--

※「⑤市役所・区役所指定動員の確認」「⑥指定避難所担当課の確認」「⑦指定避難所の開設・対応に係る区役所担当部署の確認」は、仙台市地域防災計画等の改訂に伴って変更される可能性がある。

⑧ その他、指定避難所となった場合に必要な物資に係る情報についての把握

学校における災害救援物資の備蓄状況及び近接する八木山南コミュニティ防災センターの防災資機材等の状況については、次のとおりである。

【定期的に各校の災害救助用物資等を確認すること。】

(ア) 学校の災害救助用物資一覧

No	物資	内訳	保管場所
1	クラッカー	210食(70食入り×3箱)	校舎2階備蓄倉庫
2	アルファ米	1,200食(50食入り×24箱)	校舎2階備蓄倉庫
3	おかゆ	100袋(50袋×2箱)	校舎2階備蓄倉庫
4	飲料水	800ℓ(0.5ℓ×20本入り×80箱)	校舎2階備蓄倉庫
5	簡易組立トイレ ※	5基(和式2基, 洋式3基)	校舎2階備蓄倉庫
6	携帯型簡易トイレ	300枚	校舎2階備蓄倉庫
7	救急箱	1セット	校舎2階備蓄倉庫
8	避難所運営セット ※	1セット(収容ケース1箱, 腕章, 避難所開設・運営マニュアル)	校舎2階備蓄倉庫
9	毛布	100枚(10枚×10箱)	校舎2階備蓄倉庫
10	大型扇風機 ※	4台	校舎2階備蓄倉庫
11	情報収集用テレビ ※	1台(室内アンテナ, 電源コード10m×4本含む)	校長室
12	ホワイトボード ※	1台	校舎2階備蓄倉庫
13	テント式プライベートルーム※	2基	校舎2階備蓄倉庫
14	LPG発電機 ※	3台(カセットボンベ96本含む)	校舎2階備蓄倉庫
15	LED投光器 ※	5セット(コードリール含む)	校舎2階備蓄倉庫
16	災害時多言語シート ※	1式	校舎2階備蓄倉庫
17	調理不要食	920~960食	校舎2階備蓄倉庫
18	ようかん	400本(100本×4箱)	校舎2階備蓄倉庫
19	使い捨てカイロ	600個	校舎2階備蓄倉庫
20	ハンズフリーメガホン ※	2台	校舎2階備蓄倉庫
21	ネックレス型LEDライト ※	5個	校舎2階備蓄倉庫
22	避難所運営要員用ベスト※	10着	校舎2階備蓄倉庫
23	災害用特設公衆電話	一式(電話機2台, ケーブル, ケース)	校舎2階備蓄倉庫
24	軍手	36双	校舎2階備蓄倉庫

※の物資については、通常の学校活動や防災訓練などで使用することができるが、ガスボンベ・電池等は各学校で準備すること。



(イ) 学校の新型コロナウイルス感染症対策物資一覧

No.	分類	品目	数量	保管場所
1	避難者用	プラダンパーティション	10セット	校舎2階備蓄倉庫
2		アルミマット	20枚	校舎2階備蓄倉庫
3		ワンタッチ式パーティション	4張	校舎2階備蓄倉庫
4		ブルーシート(大10枚, 小30枚)	40枚	校舎2階備蓄倉庫
5		簡易ベッド	2台	校舎2階備蓄倉庫
6	受付用	受付用デスクパーティション	4枚	校舎2階備蓄倉庫

※以下の物資は「No. 17 アルコール手指消毒剤」及び「No. 18 ニトリルゴム手袋」を除き、「No. 25 梱包用コンテナボックス」にまとめて配備・保管を行う

No.	分類	品目	数量	保管場所
7	避難者受付用	フェイスシールド(フレーム+シールド)	30個	梱包用コンテナボックス
8		フェイスシールド(予備シールド)	120枚	梱包用コンテナボックス
9		アイソレーションガウン	30着	梱包用コンテナボックス
10		簡易レインコート	24着	梱包用コンテナボックス
11		非接触型体温計	2台	梱包用コンテナボックス
12		作業用手袋	30双	梱包用コンテナボックス
13		クリップペンシル(1箱1,000本入り)	1箱	梱包用コンテナボックス
14		養生テープ	10巻	梱包用コンテナボックス
15	消毒・衛生用品	塩素系漂白剤(600ml)	2本	梱包用コンテナボックス
16		アルコール手指消毒剤(1,000ml)	10本	校舎2階備蓄倉庫
17		ニトリルゴム手袋(1箱100枚入り)	10箱	校舎2階備蓄倉庫
18		ハンドソープ(500ml)	6本	梱包用コンテナボックス
19		使い捨て手袋(1包100枚入り)	2包	梱包用コンテナボックス
20		ペーパータオル(1包200枚入り)	6包	梱包用コンテナボックス
21		ゴミ袋(大)	100枚	梱包用コンテナボックス
22		ゴミ袋(小)	600枚	梱包用コンテナボックス
23		除菌アルコールシート(1個20枚入り)	50個	梱包用コンテナボックス
24		雑巾(1包10枚入り)	3包	梱包用コンテナボックス
25	梱包用	梱包用コンテナボックス	2個	校舎2階備蓄倉庫

※以下の物資は学校または避難所担当課において保管を行う（ダンボール1箱に収納）

No.	分類	品目	数量	保管場所
1	消毒・衛生用品	アルコール手指消毒剤（1,000ml）	1本	ダンボール箱
2		塩素系漂白剤（600ml）	1本	ダンボール箱
3		使い捨て手袋（1包100枚入り）	2包	ダンボール箱
4		ペーパータオル（1包200枚入り）	1包	ダンボール箱
5		マスク（60枚入り）	2箱	ダンボール箱

### （ウ） 八木山南コミュニティ防災センターの防災資機材一覧

No.	品名	数量	No.	品名	数量
1	消火器	10本	17	つるはし	5丁
2	消火用バケツ	20個	18	ビニル紐	5個
3	消火用ポリタンク(20ℓ)	5個	19	金てこ	3本
4	給水用ポリ袋(6ℓ)	100枚	20	防水シート	100枚
5	ラジオ付ライト(懐中電灯)	5個	21	土のう袋	200枚
6	カラーコーン	10個	22	なた	5丁
7	コーンバー	5個	23	サイレン付メガホン	3個
8	トラロープ	5個	24	担架	3式
9	救急医療セット	3式	25	組立水槽(1立方メートル)	2式
10	毛布	200枚	26	炊飯装置	2式
11	保安帽	50個	27	オイルパン	2個
12	鉄杭(パイプ)	40本	28	発電機	3式
13	鉄杭(丸棒)	40本	29	発電機用オイル(4ℓ缶)	2缶
14	ヘッドキャップ	5個	30	テント	2式
15	10ポンドハンマー	5丁	31	金属はしご	2個
16	スコップ	10丁	32	リヤカー	1式

(エ) **補助避難所**八木山南コミュニティ防災センターの新型コロナウイルス  
 ス感染症対策物資一覧

No.	分類	品目	数量
1	避難者用	プラダンパーティション	2セット
2		アルミマット	4枚
3		ワンタッチ式パーティション	2張
4		ブルーシート	10枚
5		簡易ベッド	2台
6	受付用	受付用デスクパーティション	4枚

※以下の物資は「No. 16 アルコール手指消毒剤」を除き、「No. 24 梱包用コンテナボックス」  
 にまとめて配備・保管を行う

No.	分類	品目	数量
7	避難者 受付用	フェイスシールド（フレーム+シールド）	20個
8		フェイスシールド（予備シールド）	80枚
9		アイソレーションガウン	20着
10		簡易レインコート	12着
11		非接触型体温計	1台
12		作業用手袋	20双
13		クリップペンシル（1箱1,000本入り）	1箱
14		養生テープ	5巻
15	消毒・ 衛生用品	塩素系漂白剤（600ml）	1本
16		アルコール手指消毒剤（1,000ml）	10本
17		ハンドソープ（500ml）	3本
18		使い捨て手袋（1包100枚入り）	2包
19		ペーパータオル（1包200枚入り）	6包
20		ゴミ袋（大）	100枚
21		ゴミ袋（小）	300枚
22		除菌アルコールシート（1個20枚入り）	20個
23		雑巾（1包10枚入り）	1包
24	梱包用	梱包用コンテナボックス	2個

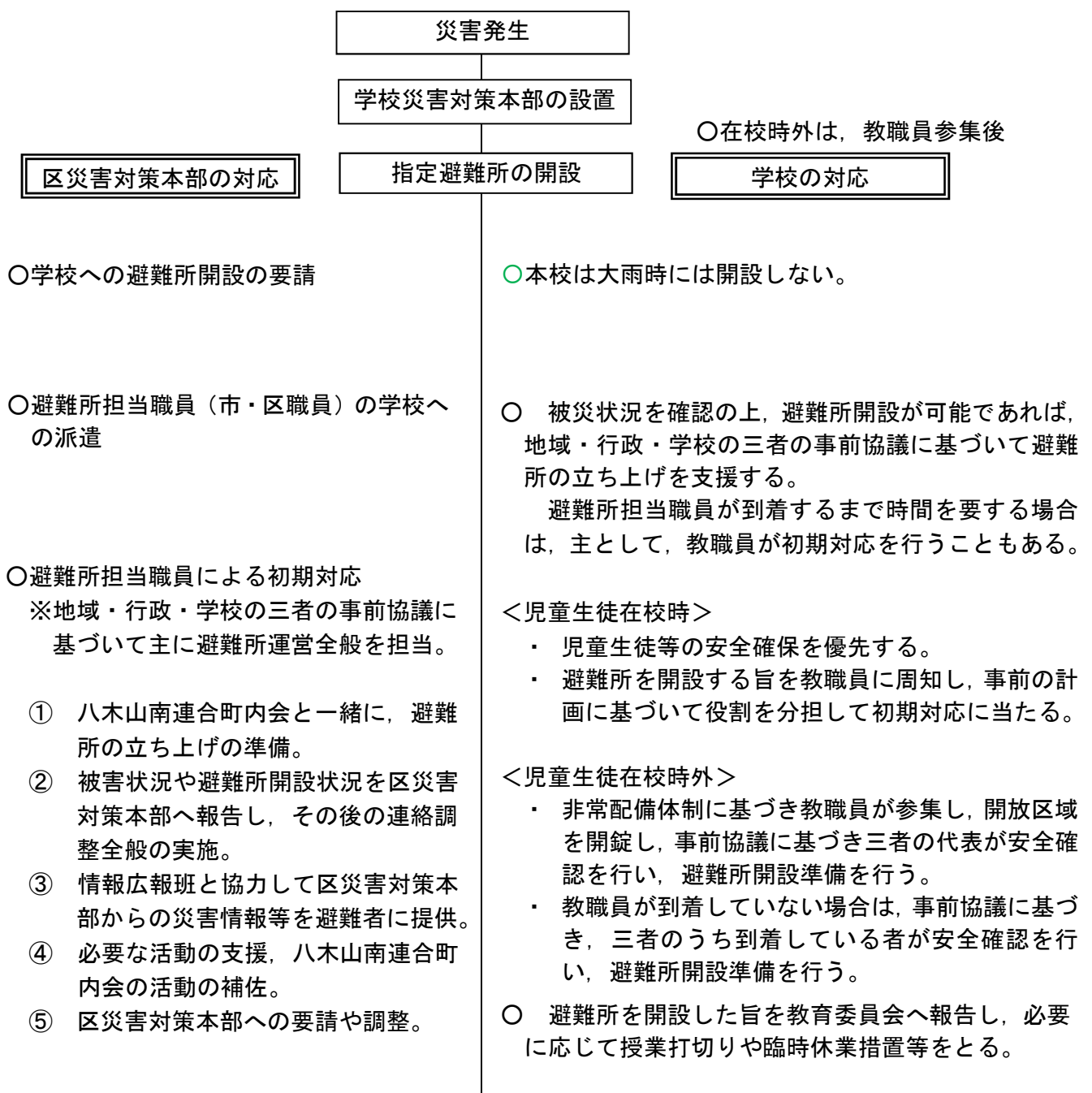
### (3) 指定避難所開設・運営の協力・支援

校長は、太白区災害対策本部より指定避難所開設を要請された場合に備え、「避難所等安全確認チェックシート（資料4）」に基づき、避難所として使用される施設の安全確認を行い、避難所の開設体制を整える。

避難者が既に集合している状態で、区災害対策本部から避難所の開設要請がなく、市の避難所担当職員が到着していない場合は、校長の判断により、あらかじめ定める避難所運営の支援体制等に基づき応急的な受け入れ措置を行うとともに、避難状況等について区災害対策本部に連絡する。

校長は、指定避難所として開放した場合には、速やかに仙台市教育委員会に報告のうえ、学校の臨時休業等についても報告・協議する。

#### ① 学校災害対策本部における支援マニュアル



避難所の中・長期化への対応

○避難所担当職員の役割

八木山南連合町内会や避難者、学校と連携しながら避難所運営の全般に携わる。

特に、太白区災害対策本部との情報伝達により、避難所内の課題解決に向けた要請や調整を行う。

○教職員も役割を分担し、可能な範囲内において避難所運営を支援する。

役割	担当者名
総務班	防災主任
名簿班	教務主任
食料物資班	栄養教諭
衛生班	養護教諭
情報広報班	事務
救護班	養護教諭

○避難所を支援するための児童生徒等によるボランティア活動の組織・運営を行う。

○避難所としての学校施設使用状況に関して教育委員会へ適時報告を行う。

○臨時休業、学校教育再開に関して教育委員会と連絡及び協議を行う。

○学校教育活動の再開の決定をする。

○太白区災害対策本部から避難所閉鎖の要請

※太白区災害対策本部から連絡を受けて閉鎖となる。

指定避難所の閉鎖

○避難者の居住先を確保する。

○指定避難所閉鎖による校内施設等の通常状態への回復

○教育委員会への避難所閉鎖の連絡

② 避難所開設・閉鎖に係る情報伝達の流れ

1. 避難所開設

(1) 風水害の場合

土砂災害警戒情報や洪水の危険性が高まった際に、学校長の携帯メールなどに区災害対策本部から避難所開設準備に係る連絡が届く。

(2) 津波注意報・津波警報・大津波警報発表時の場合

津波注意報等発表時は、次の学校の教職員は配備計画（P19）に従って、避難所開設準備を行う。

①津波注意報発表時

- ・宮城野区：岡田小，高砂中
- ・若林区：六郷中，七郷中

②津波警報発表時

- ・宮城野区：岡田小，福室小，中野栄小，鶴巻小，高砂中，中野中
- ・若林区：六郷小，七郷小，沖野小，蒲町小，沖野東小，荒井小，六郷中，七郷中，蒲町中，沖野中
- ・太白区：四郎丸小，袋原小，東四郎丸小，郡山小，袋原中

### ③大津波警報発表時

- ・宮城野区：福室小，中野栄小，鶴巻小，中野中
  - ・若林区：六郷小，七郷小，沖野小，蒲町小，沖野東小，荒井小，六郷中，七郷中，蒲町中，沖野中
  - ・太白区：四郎丸小，袋原小，東四郎丸小，郡山小，袋原中
- ※ 岡田小，高砂中は参集しない。

### (3) 地震発生の場合

市内で震度6弱以上の地震が発生した場合，市内の指定避難所になっている全学校は，施設管理者が施設の安全を確認した後，異常がなければ避難所開設を行う。

避難所開設後，建築専門家が安全確認の支援を行うため，避難所施設の点検に伺う。

### (4) その他

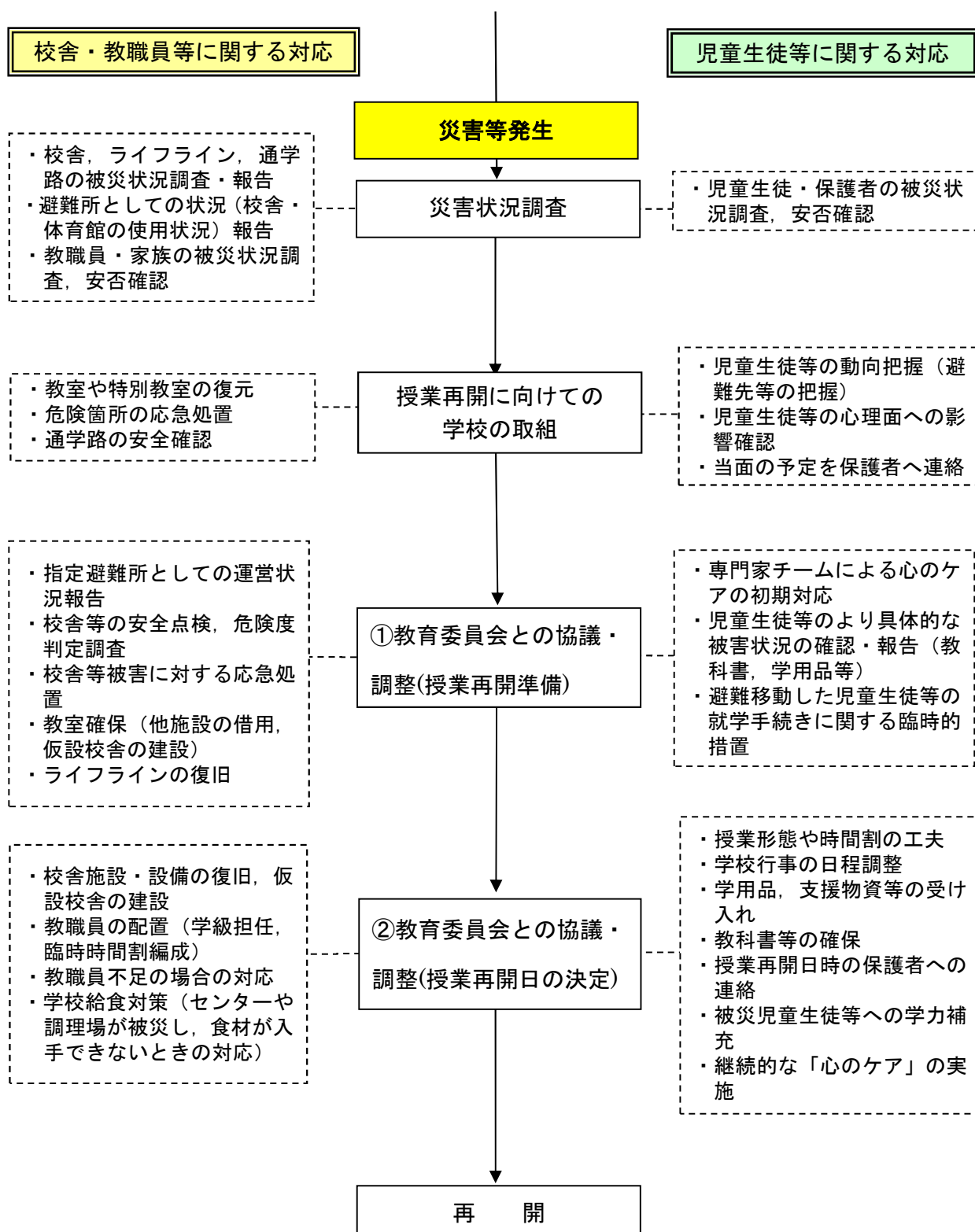
上記(1)～(3)以外にも，災害により避難者が発生した場合等には，区災害対策本部の判断により避難所開設を行う場合がある。

## 2. 避難所の縮小・閉鎖

避難所の縮小・閉鎖は，気象警報の解除，地域の安全の確保などを総合的に検討した上で，区災害対策本部から各学校へ連絡が届く。

避難者が全員帰宅した後も，区災害対策本部から連絡があるまでは，避難所を閉鎖しない。

## (4) 授業再開に向けた対応マニュアル



## 8 その他

### (1) 避難訓練計画（地震，大雨等）について

災害	訓練実施日時	実施方法（避難方法・避難場所等） ※文例
土砂災害 引き渡し	6月16日	<ul style="list-style-type: none"><li>・土砂災害警戒情報の発表を想定し，昇降口を経由した避難経路を確認しながら，体育館へ避難する。その後，保護者へ引き渡す訓練を実施する。</li><li>・地震対応訓練と併せて，土砂災害に備えた避難方法について各学級で指導する。</li><li>・教職員間で，土砂災害に備えた情報伝達及び避難誘導の訓練を行う。</li></ul>
地震	9月2日	<ul style="list-style-type: none"><li>・地震対応避難訓練として，全校一斉に校庭に避難する。（雨天時は体育館）。</li><li>・教職員間で，地震に備えた情報伝達，避難誘導，検索の訓練及び確認を行う。</li></ul>

※ 詳細については令和4年度学校運営計画 p.166 避難訓練計画 参照

### (2) 土砂災害に関する避難確保計画

別に掲載

### (3) 資料1～4

別に掲載

マニュアル使用にあたって

- (1) 全職員1部必携とし，早い段階に研修会等で読みあわせを行う。
- (2) 風水害等の災害については，このマニュアルに準じて対応する。
- (3) 火災については別途作成する消防計画に拠る。
- (4) マニュアルの内容については保護者や地域と情報を共有する。
- (5) 関係者（町内会長，PTA会長，SBL，避難所担当課，指定動員等）にも配付する。
- (6) 本マニュアルを学校ホームページに掲載し広く周知する。  
※ただし，個人情報に関わる部分は除く（例：P30等）



## (2) 土砂災害に関する避難確保計画

(資料1「避難確保計画作成対象学校一覧」のみ作成)

### 1. 計画の目的・報告

- この計画は、本校における**児童**の土砂災害発生時または土砂災害のおそれがある場合の、**円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的**とする。

※関連法：土砂災害防止法

- また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、年1回以上の防災教育や訓練を行い、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。また、本計画を修正した時や訓練終了後は、別紙(様式1)の**訓練実施結果報告書**を**教育局教育指導課**へ提出する。教育指導課は各学校における訓練実施結果報告書を取りまとめ、危機管理局減災推進課へ情報提供をする。

### 2. 計画の適用範囲

- 教職員39名 児童生徒数298名 (令和4年5月現在)

#### 【対象となる災害種別】

	対象河川名	浸水深の想定	早期の立ち退き避難が必要な区域か
洪水		<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0m以上	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0m以上	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0m以上	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0m以上	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0m以上	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0m以上	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
土砂災害	がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)	<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	<input checked="" type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域
	土石流	<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	<input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域
	地すべり	<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	<input checked="" type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域

### 3. 防災体制

#### 《土砂災害が対象の場合》

	体制確立の判断時期	活動内容
注意体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【警戒レベル2】大雨注意報の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象情報等の情報収集</li> </ul>
警戒体制	以下のいずれかに該当する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象情報等の情報収集</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雨警報（土砂災害）（警戒レベル3相当情報）の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者への事前連絡</li> <li>・ 周辺住民との情報共有</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当情報）の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用する資機材の準備</li> </ul>
非常体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【警戒レベル3】高齢者等避難の発令</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の避難誘導</li> </ul>
	以下のいずれかに該当する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設全体の避難誘導</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【警戒レベル4】避難指示の発令</li> <li>・ 大雨特別警報（土砂災害）（警戒レベル5相当情報）の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急安全確保措置</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【警戒レベル5】緊急安全確保の発令（必ず発令される情報ではないことに注意）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（その時点でのいる場所よりも相対的に安全である場所へ直ちに移動等すること。必ずしも身の安全を確保できるとは限らない。）</li> </ul>

※次に示すような土砂災害の前兆現象を確認した際は、『警戒レベル3 高齢者等避難』の発令を待つことなく避難誘導を開始する。

#### 代表的な土砂災害の前兆現象

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がけの表面に水が流れ出す</li> <li>・ 小石がパラパラと落ちる</li> <li>・ 樹木が傾く</li> <li>・ 樹木の倒れる音がする</li> <li>・ 斜面が膨らみだす</li> <li>・ 家や擁壁に亀裂が入る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がけや斜面から水が噴き出す</li> <li>・ 井戸や沢の水が濁る</li> <li>・ 樹木の根の切れる音がする</li> <li>・ がけに割れ目が見える</li> <li>・ 地鳴りがする</li> <li>・ 地面が揺れる</li> </ul> |
|--|--|

■ **地すべり災害について\*** (対象：愛宕中学校)

地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象であり、技術的に予測が困難であることから、都道府県と気象庁が共同で発表する「**土砂災害警戒情報**」の対象となっていない。また、「避難情報に関するガイドライン」(令和3年5月内閣府)では、地すべり災害は、危険性が確認された場合、国や都道府県等が個別箇所毎の移動量等の監視・観測等の調査を行いその調査結果等を踏まえ、市町村が避難情報を発令することとされている。

## 4. 避難誘導

(1) 避難場所

- 避難場所は別紙「緊急土砂災害時 校舎利用配置図」のとおりとする。

(2) 避難経路

- 避難経路は原則、校舎内階段を使用する。

※**東長町小学校**については、浸水深の想定が3.0m以上のため校舎3階以上への避難をする。

※土砂災害について、校舎が倒壊のおそれがない場合、斜面と反対側の校舎2階以上への避難をする。

なお、校舎・体育館ともが土砂災害警戒区域に含まれており、大雨時に開設されない避難所となっている「**八木山南小学校**」「**湯元小学校**」「**人來田中学校**」「**八乙女中学校**」についても、生徒の一時的な避難について同様とする。

「**愛宕中学校**」については土砂災害警戒情報の発表対象でない(前頁※1参照) **地すべり**が対象災害であり、大雨時は避難所として使用できる。ただし、宮城県による調査の結果、地すべりの危険性が認められた場合には、仙台市から避難情報が発令されるため、速やかに**土砂災害警戒区域外**への避難を開始する。

## 5. 避難の確保を図るための施設の整備

- これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

### 避難確保資器材等一覧

活動の区分	備蓄品
情報収集・伝達	<input checked="" type="checkbox"/> テレビ, <input checked="" type="checkbox"/> ラジオ, <input checked="" type="checkbox"/> タブレット, <input checked="" type="checkbox"/> ファックス, <input checked="" type="checkbox"/> 携帯IP電話, <input type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー
避難誘導	<input checked="" type="checkbox"/> 名簿, <input checked="" type="checkbox"/> 案内旗, <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯, <input checked="" type="checkbox"/> 携帯用拡声器, <input checked="" type="checkbox"/> 電池式照明器具, <input type="checkbox"/> 電池, <input type="checkbox"/> 蛍光塗料
そのほか	<input checked="" type="checkbox"/> ウェットティッシュ, <input checked="" type="checkbox"/> ゴミ袋, <input checked="" type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )

## 避難確保計画作成対象学校一覧

1. 洪水浸水想定区域内に位置する学校  
→「洪水時の避難確保計画」を作成してください

区	学校名	どの河川の洪水浸水想定区域に含まれるか						
		名取川	広瀬川 (下流)	七北田川 (下流)	梅田川	旧笹川	筑川	増田川※
宮城野区	新田小学校			○	○			
	岩切小学校			○				
	岩切中学校			○				
	高砂小学校			○	○			
	福室小学校			○				
	中野栄小学校			○				
	岡田小学校	○		○	○			
	鶴巻小学校			○	○			
	田子小学校			○	○			
	中野中学校			○				
	田子中学校			○	○			
高砂中学校			○					
若林区	古城小学校		○					
	沖野小学校		○					
	六郷小学校	○	○					
	六郷中学校	○	○					
	沖野中学校		○					
	沖野東小学校	○	○					
	南材木町小学校		○					
	八軒中学校		○					
	若林小学校		○					
	七郷小学校		○					
	七郷中学校		○					
	蒲町小学校		○					
	蒲町中学校		○					
	南小泉小学校		○					
	南小泉中学校		○					
大和小学校		○						
遠見塚小学校		○						
太白区	大野田小学校	○				○	○	
	郡山中学校	○	○					
	八本松小学校	○	○					
	中田小学校	○						
	四郎丸小学校	○						
	袋原小学校	○						
	長町小学校		○					
	袋原中学校	○						
	郡山小学校	○	○			○		
	東四郎丸小学校	○						
	西中田小学校	○						
	東長町小学校	○	○			○		
	中田中学校	○						
	柳生中学校	○						○
柳生小学校	○							
富沢小学校	○					○		
泉区	市名坂小学校			○				

※郡山小学校と東長町小学校 「旧笹川」を対象に追加しました(減災推進課)

2. 建物が土砂災害警戒区域内に含まれる学校  
→「土砂災害に関する避難確保計画」を作成してください

区	学校名	種別	区域区分
青葉区	北仙台小学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
	折立小学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
	川平小学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
	台原中学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
宮城野区	西山中学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
太白区	八木山小学校	急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
	<b>八木山南小学校</b>	<b>急傾斜地の崩壊</b>	<b>特別警戒区域</b>
	秋保小学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
	湯元小学校	急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
	愛宕中学校	地すべり	警戒区域
泉区	人來田中学校	急傾斜地の崩壊	警戒区域
	八乙女中学校	急傾斜地の崩壊	特別警戒区域
	根白石中学校	土石流	警戒区域

## 大雨時に初動で開設しない避難所等について（修正版）

大雨時に以下の学校については、

- ①「警戒配備」・「非常1号配備」等の時は、避難所として開設しない。  
 ②「警戒配備」では、教職員は参集しない。「非常1号配備」では、教職員は参集する。

所在地（区）	大雨時に初動で開設しない避難所	運営を一つにする他の避難所（集約先）
青葉区	東六番丁小学校	
	川前小学校	大沢中学校
	南吉成中学校	南吉成小学校
	五城中学校	
	東二番丁小学校	
	折立小学校	折立中学校
	上杉山通小学校	上杉山中学校
	桜丘中学校	桜丘小学校
宮城野区	幸町小学校	
	幸町南小学校	
	仙台大志高等学校	宮城野中学校
	榴岡小学校	
	東華中学校	
	仙台工業高等学校	宮城野小学校
太白区	金剛沢小学校	西多賀中学校
	生出小学校	生出中学校
泉区	桂小学校	
	高森東小学校	
	将監小学校	将監西小学校
	将監中央小学校	
	将監東中学校	
	将監中学校	
	松森小学校	鶴が丘小学校
	鶴が丘中学校	
	加茂中学校	加茂小学校
	松陵中学校	泉松陵小学校
	南中山中学校	南中山小学校
	住吉台中学校	住吉台小学校
	七北田中学校	七北田小学校
	南光台小学校	南光台中学校
	高森中学校	高森小学校
	南光台東中学校	南光台東小学校
向陽台中学校	向陽台小学校	

## 仙台市における気象警報等の区域について

- ・「**仙台市東部**」とは、**青葉区**（宮城総合支所管内を除く）、**宮城野区**、**若林区**、**太白区**（秋保総合支所管内を除く）を指す。
- ・「**仙台市西部**」とは、**泉区**、青葉区**宮城総合支所管内**、太白区**秋保総合支所管内**を指す。

青葉区小学校（西部）	
番号	校名
79	広瀬小学校
80	上愛子小学校
82	大沢小学校
83	川前小学校
85	吉成小学校
116	南吉成小学校
119	栗生小学校
124	愛子小学校
127	錦ヶ丘小学校

青葉区小学校（東部）			
番号	校名	番号	校名
1	東二番丁小学校	31	国見小学校
2	木町通小学校	36	荒巻小学校
3	立町小学校	38	台原小学校
5	東六番丁小学校	41	旭丘小学校
7	片平丁小学校	43	中山小学校
8	上杉山通小学校	47	北仙台小学校
9	通町小学校	48	折立小学校
12	八幡小学校	57	桜丘小学校
17	北六番丁小学校	64	川平小学校
29	小松島小学校		

青葉区中学校（西部）	
番号	校名
32	折立中学校
37	広瀬中学校
38	大沢中学校
41	吉成中学校
61	南吉成中学校
65	広陵中学校
66	錦ヶ丘中学校

青葉区中学校（東部）			
番号	校名	番号	校名
1	第一中学校	22	台原中学校
2	第二中学校	23	北仙台中学校
3	三条中学校	26	中山中学校
4	上杉山中学校	29	桜丘中学校
5	五城中学校	32	折立中学校
9	五橋中学校		

青葉区中等教育学校（西部）	
番号	校名
-	仙台青陵中等教育学校

太白区小学校（西部）	
番号	校名
86	秋保小学校
87	馬場小学校
88	湯元小学校

太白区小学校（東部）			
番号	校名	番号	校名
15	長町小学校	58	袋原小学校
16	向山小学校	61	八木山南小学校
18	西多賀小学校	63	太白小学校
19	中田小学校	65	芦口小学校
28	東長町小学校	68	東四郎丸小学校
32	生出小学校	69	人来田小学校
37	鹿野小学校	70	西中田小学校
39	四郎丸小学校	74	郡山小学校
44	八本松小学校	75	茂庭台小学校
45	上野山小学校	114	長町南小学校
49	八木山小学校	122	柳生小学校
55	金剛沢小学校	125	富沢小学校
56	大野田小学校		

太白区中学校（西部）	
番号	校名
42	秋保中学校

太白区中学校（東部）			
番号	校名	番号	校名
10	愛宕中学校	27	山田中学校
13	長町中学校	31	袋原中学校
14	中田中学校	35	人来田中学校
19	西多賀中学校	55	富沢中学校
20	生出中学校	57	茂庭台中学校
21	郡山中学校	63	柳生中学校
25	八木山中学校		

太白区幼稚園（西部）	
番号	園名
-	あきう幼稚園

# 避難所等安全確認チェックシート

## 避難所等安全確認チェックシート（避難所外部編）

表面

次の各項目について建物の崩壊や周辺落下物などの危険がないか点検し、「ある」「ない」いずれかにチェックを入れてください。「ある」の場合は、以降の対応を行ってください。

**建物全体**



建物の一部または全部に崩壊がみられる

ない

ある


建物が一見してわかるほど傾いている

ない

ある

→ 建物の使用中止

**外壁(上部)・屋根**



落下の恐れがある(壁・屋根材のひび割れ、剥落等の異常が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

**窓・ガラス**



落下の恐れがある(ガラスのひび割れ、破損等が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

その他、注意を要する事項



**建物入り口、渡り廊下など主要通路**

害しいひび割れや段差が発生している

ない

ある

注意喚起、程度に応じて周辺立入禁止

**柱・外壁**



部材の著しい剥がれがみられる、部材の著しい変形がみられる

ない

ある

→ 建物の使用中止

**建物周辺**



地割れや地盤沈下が見られる

ない

ある

→ 周辺立入禁止

地すべり・かけ崩れの恐れがある

ない

ある

→ 周辺立入禁止、建物に影響する恐れがあれば建物の使用中止

◆避難所に危険等問題がある場合の連絡先

災害対策本部

青葉区役所 TEL 225-7211 FAX 222-7119

宮城総合支所 TEL 392-2111 FAX 392-2228

宮城野区役所 TEL 291-2111 FAX 291-2371

若林区役所 TEL 282-1111 FAX 282-1152

太白区役所 TEL 247-1111 FAX 249-1131

秋保総合支所 TEL 399-2111 FAX 399-2924

泉区役所 TEL 372-3111 FAX 375-3785

◆このチェックシートに関する相談先

都市整備局建築宅地部建築指導課 TEL 214-8323

続いて裏面「内部」の点検を行ってください。

## 避難所等安全確認チェックシート（避難所内部編）

裏面

次の各項目について落下物等の危険がないか点検し、「ある」「ない」いずれかにチェック。「ある」の場合は、以降の対応を行ってください。

**屋内運動場**

**放送機器**




落下の恐れがある(機器の傾き、取り付け部に腐食・破損が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

**内壁(内装材)**



落下の恐れがある(内装材のひび割れ、剥落等の異常が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

**照明器具**




落下の恐れがある(照明器具に変形・変色等の異常、器具カバーのずれが見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

**天井**



落下の恐れがある(天井に破損等の異常、天井の筋かい(水平ブレース)の破断が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

**体育器具**




落下の恐れがある(器具の傾きや取付金物に腐食・破損、吊りワイヤーの破断が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

**窓・ガラス**



落下の恐れがある(ガラスのひび割れ、破損等が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止

建具に変形・たわみ・ガタつきが見られる

ない

ある

→ 窓使用禁止

**ピアノ**



転倒又は移動がある(ピアノに転倒・移動が見られる)

ない

ある

→ 周辺立入禁止



**落下物の有無**



天井等の落下がある(内壁、照明器具、天井、体育器具、窓・ガラスの落下が見られる)

ない

ある

落下物の状況により

→ 立入禁止 又は 落下物撤去

建物内部からみた柱等の建物被害

**柱**



**筋かい(ハツ形の斜材)**



部材が曲がっている、折れている

ない

ある

端部のボルトが折れている、外れている

ない

ある

→ 建物の使用中止

その他、注意を要する事項

◆避難所に危険等問題がある場合の連絡先

災害対策本部

青葉区役所 TEL 225-7211 FAX 222-7119

宮城総合支所 TEL 392-2111 FAX 392-2228

宮城野区役所 TEL 291-2111 FAX 291-2371

若林区役所 TEL 282-1111 FAX 282-1152

太白区役所 TEL 247-1111 FAX 249-1131

秋保総合支所 TEL 399-2111 FAX 399-2924

泉区役所 TEL 372-3111 FAX 375-3785

◆このチェックシートに関する相談先

都市整備局建築宅地部建築指導課 TEL 214-8323

作成：仙台市建築指導課

監修：宮城県建築物等地震対策推進協議会



令和4年4月27日

保護者の皆様

仙台市立八木山南小学校  
校長 吉田 正太郎

## 安全な登下校等について（お知らせとお願い）

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校では、台風や雷・突風・大雪などの荒天で児童が安全に登下校することが困難な状況が発生した場合や突発的な事件発生等により危険な状況が起きた場合、インフルエンザなどの感染症が流行して対応が必要になった場合などには、下記のように対応しますので、ご協力をお願いいたします。また、裏面の「非常時の登下校体制について」も併せてご確認ください。

なお、登下校は原則徒歩としておりますが、やむを得ない事情がある場合は、児童や歩行者への配慮、交通ルールを遵守しての送迎をお願いいたします。また、校地内は最徐行での運転をお願いいたします。児童の安全が第一ですので、ご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 「臨時休業」または「登校時刻を遅らせる」、「学級閉鎖」措置の場合

- ・前日の下校前に決定 ⇒ 「前日にお便りで通知」「前日に一斉メール配信で通知」
- ・前日の下校後に決定 ⇒ 「前日に一斉メール配信で通知」
- ・当日の朝に決定 ⇒ 「前日にお便りで予告」「当日朝一斉メール配信で通知」  
「学校HPに掲載」「テレビやラジオ等の報道」

\*インフルエンザの流行時など、翌々日からの学級閉鎖の可能性などを「お便り」「一斉メール」などでお知らせする場合があります。

#### 2 「午後の授業を打ち切り下校時間帯を早める」、「一斉下校」措置の場合

- ・「一斉メール配信で通知」「学校HPに掲載」「テレビやラジオ等の報道」
- \*台風接近等で翌日の授業打ち切りの可能性を予測できる場合  
⇒ 「前日にお便りで予告」「一斉メール配信で通知」

#### 3 登校時間帯に局地的な天候の急変により通学が困難な状況になった場合

- ・ご家庭の判断で、通学が安全と確認されるまで登校を見合わせてください。
- ・遅刻しても構いません。
- ・欠席させる場合は、必ず学校へご連絡ください。

#### 4 下校時間帯に局地的な天候の急変により下校が困難な状況になった場合

- ・学校の判断で、安全が確認されるまで学校に一時的に留め置いて下校時間帯を遅らせることがあります。
- ・留め置きが30分程度の場合は、メール配信をいたしません。1時間以上に及ぶ場合は、メール配信でお知らせします。
- \*大雨や落雷等により停電が起きた場合などには、一斉メールや学校ブログの配信ができなくなることも予測されますので、この点をご理解ください。

## 非常時の登下校体制について

### 1. 基本的な考え方

- (1) 登下校時に大地震が発生した時の基本対応を策定しました。
- (2) 地震や緊急事態に対する対応は、児童・保護者・職員の生命等の安全を第一に考えます。
- (3) 対応に迷った場合は、より安全な対応を行います。

### 2. 登校～下校時の「児童」「保護者」「学校」の対応

	緊急事態 A	緊急事態 B
	<p>■市内に震度5強以上の地震が発生したとき。</p> <p>■大雨、洪水、暴風、大雪等による災害が発生し、市内全域に拡大するおそれがあるとき。</p> <p>■児童の生命に危険が及ぶおそれがある凶悪な事件が発生したとき。</p>	<p>■市内に震度5弱の地震が発生したとき。</p> <p>■大雨、洪水、暴風、大雪等の警報が出されたとき。</p> <p>■児童に危険のおそれがある不審者出没等の事案が発生したとき。</p>
<b>一 斉 メ ール 配 信</b>		
登校中	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全な場所に避難・待機する。</li> <li>○学校に近いときは学校に避難する。</li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路を歩いて学校へ向かい、待機した児童とともに避難する。</li> </ul> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の非常配備体制準備を行い、児童・保護者等の受け入れを行う。</li> </ul>	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全な場所に避難・待機する。</li> <li>○学校に近いときは学校に避難する。</li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路を歩いて学校へ向かい、待機した児童とともに登校する。</li> </ul> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○状況により安全を確認し、保護者と連携して児童を学校に引率する。</li> </ul>
在校時	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の防災計画に従って避難する。</li> <li>○道路状況を確認後、非常時下校体制（<b>学校待機・保護者引渡し</b>）の準備を始める。</li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校に向かい、児童とともに避難する。</li> </ul>	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の防災計画に従って避難する。</li> <li>○校舎等に異常がない場合は授業を再開する。</li> <li>○道路状況等を確認後、下校が可能な場合は一斉下校を行う。</li> </ul>
下校中	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全な場所に避難・待機する。</li> <li>○学校に近いときは学校に避難する。</li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路を歩いて学校へ向かい、被災状況に応じて児童とともに避難する。</li> </ul> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員は被災状況に応じて通学路を歩いて各地区へ向かい、下校途中の児童を学校に引率する。（<b>学校待機・保護者引渡し</b>）</li> </ul>	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全な場所に避難・待機する。</li> <li>○学校に近いときは学校に避難する。</li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要に応じて通学路を歩いて学校へ向かい、児童とともに帰宅する。</li> </ul> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員は通学路を歩いて各地区へ向かい、児童の安全確認を行った上で帰宅させる。危険な場合は学校に引率する。</li> </ul>

※緊急事態・非常災害時には一斉メール配信で連絡します。ただし、緊急事態Aで電話や電気が不通の場合は、保護者引渡しとなりますので直接学校にお越しください。

※緊急事態A・B以外の場合にも不審者出没、悪天候の場合など登下校体制について連絡しますので、一斉メール配信のメールアドレス登録をお願いいたします。

※登下校中の避難の仕方については学級等で指導します。避難場所などについては、各ご家庭で普段からお子さんと確認をしておいてください。